

2008年4月号 vol.193

# 広報

 兵庫医科大学 ・  兵庫医療大学



(上:兵庫医科大学 下:兵庫医療大学)

## 特集 兵庫医科大学がんセンター設立

### 05 第31回兵庫医科大学卒業式

### 09 兵庫医科大学附属看護専門学校卒業式

- 11 最近の主な出来事
- 13 理事長メッセージ「本学の広報活動」

#### <兵庫医科大学>

- 14 学長メッセージ「新入学・新入職された皆さんへ」
- 15 兵庫医科大学発 術後癒着スタンダード予防法確立を目指して
- 16 一般入学試験
- 17 新任教授就任挨拶・学位の授与
- 18 退職記念講演会

#### <兵庫医科大学病院>

- 19 病院長メッセージ「特定機能病院としての現状とあり方」
- 20 腎移植200回を達成!記念講演会を開催
- 21 「女子学生、女性医師をサポートするための会」開催

### 22 乳腺・内分泌外科開設/病院病理部臨床検査技師表彰

#### <兵庫医療大学>

- 23 学長メッセージ「2年目を迎えた兵庫医療大学」
- 25 第1回保護者懇談会を開催
- 26 一般入学試験

#### <学校法人兵庫医科大学>

- 27 理事・評議員の異動/組織改定
- 29 規程等の制定・改正
- 30 インフォメーション
- 31 卒業生紹介 ~奈良県橿原市長 森下豊さん(第9期生)~
- 32 職場レポート  
~兵庫医科大学病院小児科・看護部救命救急センター・兵庫医療大学薬学部~
- 35 Join us! 一課外活動紹介一 ~兵庫医科大学 学生会~



# 兵庫医科大学 がんセンター設立

## ～「がん」診療・研究・教育の取り組み～

がん医療の重要性と社会的要求が高まる中、兵庫医科大学ではがん医療の発展に向け、さまざまな取り組みを行っています。今号では、去る3月1日に平成記念会館で行われた「兵庫医科大学がんセンター設立記念講演会」での講演等をもとに、兵庫医科大学のがん診療・研究・教育への取り組みを特集します。



中野 孝司  
がんセンター長



### 兵庫医科大学がんセンターの概要

がん対策基本法が施行され、対策が進む中で、兵庫医科大学では平成19年11月に「がんセンター」を開設、外来化学療法室を拡充するなど、質の高いがん医療を提供できるよう取り組んでいます。

また、臓器診療科の枠を超えた横断的な取り組みを行うことができるよう、緩和医療を含めて14の腫瘍評議会を設置していきます(図3)。現在、呼吸器腫瘍評議会と乳腺腫瘍評議会が先行して新しい体制を整え、診療にあたっています。

従来であれば、各科に患者さんが訪れると、訪れた診療科での診断を受け、必要に応じて外科、放射線科などに紹介するというのが一般的でした。

がんセンターの開設により、例えば呼吸器腫瘍評議会の場合、胸部腫瘍内科、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科と病理の5科合同診療カンファレンスが行われ、横断的な診断と治療法の決定・実施が行われることになります。また、新たな治療法の開発やがんプロフェッショナルの養成も、診療科の枠を超えて積極的に行っていきます。

- がんセンターの目的**
- 各臓器診療科の英智を結集した横断的ながん診療体制の構築
  - 高水準のがん診療を支える有能な医療人の育成
  - 地域がん医療問題解決型のがんセンター運営
  - がん患者さんが安心して受けて頂ける高水準の医療の提供



外来化学療法室  
専門リクライニングチェア17台、ベッド3台を備えた外来化学療法室



化学療法調剤室  
化学療法調剤室では、がん専門薬剤師により正確な調剤を行っています

兵庫医科大学病院	がんセンター	臓器別腫瘍評議会
外来化学療法部門	緩和医療部門	脳腫瘍評議会
院内がん登録部門	がん診療支援部門	頭頸部腫瘍評議会
がん画像診断部門	がん放射線治療部門(放射線科)	呼吸器腫瘍評議会
がん病理診断部門(セカンドオピニオン対応)	がん対策広報部門	乳腺腫瘍評議会
		肝・胆・膵腫瘍評議会
		消化器腫瘍評議会
		泌尿器生殖器腫瘍評議会
		職業性腫瘍評議会
		血液腫瘍評議会
		小児腫瘍評議会
		婦人科腫瘍評議会
		皮膚腫瘍評議会
		骨・軟部組織腫瘍評議会
		緩和医療評議会

図3

### 高齢化によってますます高まる がん診療の重要性

日本におけるがんによる死者数は、平成18(2006)年で33万1,066人。その数は年々増え続けており、昭和55(1980)年の16万2,750人と比較すると、この25年の間に倍以上となっています(図1)。また、がん死亡は全死因の約3割を占め第1位となっており、国民の3人に1人が何らかのがんで亡くなっていることとなります。

兵庫県においても、がん罹患する人は増え続けています。特に肺がん、肝がんの死者数の割合は全国より非常に高くなっています(図2)。これは、阪神工業地帯など環境を犠牲にしながら工業化を進めてきたことが原因の1つだと考えられています。

また、がんの死亡率は脳血管障害など他の死因と比べ、きわめて急激に増加しています。年齢別では、70～80歳代が特に急速に増加しています。兵庫県では、総人口約559万人(平成17年)のうち、およそ22%にあたる123万2千人が60～70歳代となっており、戦後ベビーブーマーの高齢化を迎え、がん患者もますます増え続けることが予想されます。

#### 兵庫県の高齢人口

総人口559万人(平成17年)

60～69歳	71万5千	} 123万2千人(22%)
70～79歳	51万7千	
80～89歳	21万9千	
90～99歳	4万5千	



図1



図2





## 「がん」診療・研究・教育の取り組み

すでに広報などでお伝えしている通り、「がん対策基本法」の施行を受けたがん対策推進計画に基づき、兵庫医科大学は診療をはじめ、研究、教育のさまざまな取り組みに力を入れています。

### 兵庫医科大学「がん」取り組みの歩み



### 地域連携 地域がん診療連携拠点病院に指定

がん診療連携拠点病院とは、がん診療の水準を均てん化して地域格差を無くし、全国どこでも質の高いがん医療が受けられるよう、地域におけるがん診療連携を推進するための中核となる病院として整備されているもので、各都道府県の2次医療圏に1か所程度整備することを目標としています。

兵庫医科大学病院も、2008年2月に厚生労働省から指定を受けました。指定の条件としては、化学療法や緩和医療の提供ができ、複数の診療科が協力して一定の基準を満たしたがん診療が行えること、地域の医療機関との連携協力体制を

整備していること、セカンドオピニオンの提示ができることなどがあげられます。また、化学療法士などを含めた専任スタッフや専従のコメディカル配置、施設の充実や禁煙対策、院内がん登録などのデータ管理体制といった設備や環境も条件となっています。

すでにがんセンターを中心にいくつもの取り組みを始めていますが、今後、地域の病院・医院の先生方の御協力・御支援を受けながら、質の高いがん医療を提供してまいります。

### 人材育成 がんプロフェッショナル養成プランの採択

文部科学省が大学教育の活性化を促進し、今後のがん医療を担う医療人の養成推進を図ることを目的として公募した「がんプロフェッショナル養成プラン」に、近畿の国・公・私立6大学が共同申請した「6大学連携オンコロジーチーム養成プラン」が採択されました。

このプログラムにより、がん薬物療法医・放射線治療医・医療物理士などの専門教育を行う大学院や、すでにがん医療を行っている医師に対するインテンシブコースを設置し、より高度のがん診療を実施するための専門教育を充実させる取り組みを進めています。

### 6大学連携オンコロジーチーム養成プラン

—近畿圏のがん医療水準の向上と均てん化を目指した国公立大連携プロジェクト—

#### 1. プランの概要

6大学が共通特長を含む共通の教育プログラム(単位互換)により、大学付属病院と近畿4府県のがん診療連携拠点病院、国立がんセンター東病院と連携して、がん医療の高度な知識と技術を習得可能とし、チーム医療が実践できる医療人を育成、近畿圏全体のがん医療水準の向上と均てん化を目指します。

#### 2. 連携大学

近畿大学、大阪市立大学、神戸大学、大阪府立大学、神戸市看護大学

#### 3. 兵庫医科大学の取組み

##### ○大学院の設置

下記コースを開設し、平成20年4月より放射線腫瘍学、医学物理学、臨床腫瘍薬制御学の授業科目を開講。

- 1.放射線腫瘍専門医養成コース
- 2.医学物理士養成コース
- 3.がん薬物療法専門医養成コース

##### ○インテンシブコースの設置

がんの診断・治療・研究に必要な知識と技術を有する医師および薬剤師、放射線技師などコメディカルを養成する『インテンシブコース』を開設。

- 1.放射線治療インテンシブコース
- 2.がん疼痛制御(緩和ケア)インテンシブコース
- 3.がん薬物療法インテンシブコース

## がん看護がめざすもの



さとう れいこ  
佐藤 禮子氏

日本がん看護学会理事長  
兵庫医療大学副学長

がん看護とは「がん罹患した人を理解し、がんにより患者と家族がもつ健康上の問題に対して、専門的知識・技術・態度を用いて、その問題を解決するための援助・支援を行うこと」と定義されています。患者さんが、がんという病気を受け入れ、治療法を選択する際には、「生き方」の決定までを含んでおり、その支援をするという点において看護師の役割は重要です。

日本がん看護学会は、がん看護に関する実践、教育、研究の発展と向上に努めることを目的としてさまざまな取り組みをしています。その中で、「がん看護の均てん化を目指してがん看護に携わる看護師が、ジェネラリスト・スペシャリストいずれであろうと、どこで働いていようと、どのように看護教育を受けていようと、がん患者・家族に等しく、水準の高い、標準的ながん看護を提供する事」を目指し、がん看護ガイドラインとしてアメリカのがん看護学会が出版している「がん看護コアカリキュラム」を翻訳出版しました。これはがん看護のジェネラリスト・スペシャリストにとって貴重な資源・情報源であると位置づけられているもので、アメリカでのがん看護師認定試験の学習教材ともなっており、現在、これをもとに日本のがん看護ガイドラインを作成中です。

また、同じ関心のあるものが集まって切磋琢磨するため、「日本がん看護学会特別関心活動グループ」を発足しました。がん化学療法看護やホスピスケアなど14のテーマグループで研鑽しています。

がん看護の目的は、がん患者と家族のQOLの向上であり、それは主観的評価(満足・幸福・快・安寧)を高めることであることから、が

ん看護実践はがんの診断から入院治療、外来通院治療、在宅療養、訪問看護、終末期看護まで幅広い範囲にわたります。2002年と比べ外来看護はなかなか充実しない現状がありますが、診療報酬の改定などで今後充実がはかられていくと思います。一方で、がん看護専門職者像としては、最新の専門知識、患者の立場に立った看護、連携のためのコミュニケーション能力などが求められますが、これは近年かなり近づいていると思っています。今後、がん看護領域の知の創造・充実・発展、がん看護の標準化の促進、診療報酬に結びつくがん看護技術の開発、がん関連認定看護分野特定の推進などを課題として、多くの方の期待に応えるために頑張りたいと思います。

兵庫医科大学にも、がん看護専門看護師1名と、がんに関連した認定看護師4名が活躍しています。また、がんに限らずたくさんの専門家が看護部の中に配置されています。兵庫医療大学のちのちには大学院を開設し、がん専門看護師を育成していきたいと考えておりますし、がんセンターを中心に質の高いがん看護を発信していってほしいと思います。

#### がん看護に携わるものの責務

- がん看護のフィロソフィーを持つ
- ケアリング能力(思いやり・能力・信頼・良心・コミットメント)を高める
- 倫理的判断力と調整力を高める
- 生涯学習の意欲・態度を持つ

## わが国のがん医療の展望



つちや りょうすけ  
土屋 了介氏

国立がんセンター中央病院  
病院長

平成19年4月1日、がん予防・早期発見の推進や、がん医療の均てん化、がん研究の推進を基本政策とした「がん対策基本法」が施行されました。この基本理念は、がんの研究推進や成果の普及・活用・発展と同時に、がん患者が適切な治療を受けることができ、がん患者の意向を尊重し選択可能な医療体制をつくるというすばらしいものです。しかしながら、この法律は理念法であり、現場の状況を顧みない古い考え方による部分も大きく、日本のがん医療はまだ多くの問題を抱えています。

がん患者の大半が高齢者であり、多くの場合がんと同時に他の疾患の罹患者であることから考えても、がんの診療にはジェネラリストが必要です。病院内のチーム医療ももちろんですが、他の病院・診療所との連携、または医療と介護によるチーム支援・チーム医療も必要となってきます。ところが、「日本には家庭医はいない」と言われるように、日本の開業医は専門医としての経験を積んで

きた方が多いため総合臨床医が不足しており、また病診連携の基盤もありません。専門医を生かすためにも、例えば大学病院ならば各科をローテーションさせるなどして総合臨床医・家庭医を育成し、地域の家庭医と総合病院の専門医などが有機的に結びつくことで、質の高い医療の提供ができる体制を早期に整えなければいけないと考えています。

がんプロフェッショナル養成プランが認定されましたが、がんの専門家をClass Roomで育てようとしてもだめで、Bed Side Teachingすなわち病院での卒後教育が重要です。また、教育といふと何かと「研修」になりますが、制度として本格的に取り組むことも必要です。文部科学省・厚生労働省にも期待しつつ、都道府県は人材確保のための取り組みを、そして国民は自主的・主体的に地域特性に応じた提案を行ってほしいと思います。





# 志を持って...

## 兵庫医科大学 第31回卒業式 2008年3月6日

去る3月6日、平成記念会館において兵庫医科大学第31回卒業式が行われました。式では、波田学長が一人ひとりに学位記を授与し、式辞の中で「ただ単に“病氣”を診るのではなく“心を持った病人”を診ていることを忘れてはならないで診療に従事され、患者さんの為に貢献されることを願っております」と激励しました。その後、85名の卒業生はそれぞれ真剣な面持ちで最後の校歌を斉唱し、晴れやかな顔で学び舎を巣立っていきました。



答辞を読む卒業生代表の新川祐利さん



記念植樹の様子

## 「各賞受賞式」

今年も各賞の受賞者が決まりました。

### 森村賞

優秀な成績をもって卒業する者に贈られるもので、平成19年度卒業試験の成績とこれまでの成績の推移、課外活動等において総合的に優秀な成績を収めた勝浦堯之さんと、井上佳代さんのお二人に贈られました。



かつら しのぶ  
勝浦 堯之さん

今回、私が受賞できたのは苦勞を共にし、一緒に勉強した仲間がいてくれたからです。このような名誉な賞を頂くことが、皆に感謝すると共に、これからの医師生活を意義あるものにしていきたいと思ひます。



いのうえ かよ  
井上 佳代さん

このような素晴らしい賞をいただいたのは、6年間お世話になった先生方とクラスメート、いつも心の支えとなってくれる愛娘、母、弟、妹、そして天国の父のおかげです。研修医になっても努力を惜しまず頑張ります。

### 学生会活動 功勞賞

自治会活動、学術、芸術、体育等の課外活動およびボランティア活動等で6年間を通じて顕著な実績をあげた者に贈られるもので、課外活動に顕著な成果を収めた賀来佳子さんと、ボランティア部で6年間活動し且つ成績も優秀であった高橋果里さんのお二人に贈られました。



かく るいこ  
賀来 佳子さん

この度、このような賞を頂き、とても光榮に思ひます。柔道部を復活させ、6年間部活を続けられたのも先生方、部員、友人、家族のおかげです。大変感謝しております。培った体力と精神力を今後の人生に生かして行きます。



たかはし みさと  
高橋 果里さん

今回、学生会活動功勞賞を受賞できたのは、勉強の楽しさを教えて下さった先輩、お世話になった先生方、友人、そして温かく見守り私を支えてくれた両親のご支援によるものです。言葉では伝えきれない程感謝しています。





# 第31回兵庫医科大学卒業式 式辞

学長 波田壽一

85名の卒業生諸君、ご卒業おめでとう。桜にはまだ少し早いようですが、しかし春の息吹を感じさせる3月のこの佳き日に、多数のご来賓、保護者の皆様、そして本学理事長を始め、役員、教職員の皆様を頂き、第31回兵庫医科大学卒業式を挙行出来たことは本学の教職員にとりまして大きな喜びであり、関係各位に厚くお礼を申し上げます。諸君は本学の全ての課程をめでたく修了され、ここに立派な医学士になられたことを心よりお祝いとお喜びを申し上げます。また、6年間の長きに亘って心身ともに支えていただいた保護者の皆様にも心よりお喜びを申し上げます。本学は創立以来36年の歴史を有しており、既に3,095名の立派な卒業生を輩出したしております。ここに85名の新卒業生を加えますと、3,180名の卒業生を世に送り出したこととなります。諸君は本学を卒業されたことを誇りにして、これからの医療や研究に従事し社会に貢献されることを願っております。

諸君はマスコミの報道などでご存知のように、日本は現在医師不足が深刻化しております。しかし、一方では患者さんの側からの要求は大きく、それに答えられなければ医師としての評価は低くなり、時には訴訟という事態も引き起こされているのが現状で、医師免許さえあればどんな医師でも医師が務まるわけではありません。医師というのは大変大きな責任を伴う仕事であります。

世界医師会が2005年に出した「医の倫理マニュアル」には、医師が患者さんからの期待に応える為には、能力(competence)、共感(compassion)、自律(autonomy)、の3つを理解し、自ら示していくことが重要であると記載しております。第1の能力(competence)ですが、これは知識を使って何かをする能力、すなわち知の運用能力といわれるのですが、医師には高度の知識を使って診断や治療をする能力が要求されます。

そのような能力が無いと良い医療が出来ないことは明らかであります。諸君は本学での全ての課程を修了されており、現時点では十分に基礎能力を備えておられると確信しておりますが、大切なのは、医師となった後も医師としての能力を継続的に維持、発展させていかなければならないということです。その為には生涯に涉って新しい知識と技術を身に付ける努力が必要であります。また、チーム医療を担う一員として自分の行う技術を維持する責務も有しておると同時に、倫理的な知識、態度、技能をも修得することが求められております。医学が進歩し、社会の変化に伴って価値観も変化していきますと、それにつれて新しい倫理問題が生じてくるからであります。

第2は共感(compassion)です。これは患者さんの苦痛に対する理解と気遣い、と定義されるものですが、医療を実践していく時には欠かせないものであります。患者さんの病気からくる不安を理解し、苦痛を除く努力をしてあげることが求められています。ただ単に病気を治療しているというに止まらずに、患者さんが自分自身を治療してもらっていると実感してもらえるような努力をしなければなりません。昨年夏ごろに、新聞紙上に精神神経科の先生が投稿された記事がありました。ご自分が病気をされて痛みを感じた時に治療を受けた経験をしてみ、これまで患者さんの痛みの訴えに対して自分としては理解し、それに対して十分に対処していたように思っていたが、自分が病気をしてみても如何にいい加減にしか患者さんの気持ちを聞いてあげていなかったかが分かった、と書いてありました。医師は自分では一生懸命に患者さんの訴えを聞いていると思っても、それで十分な対応が出来ているとは言えない、ということをお話してくれる話で、私たちはいつも謙虚に反省し努力しなければならないことを、この話は教えてくれています。

第3は自律(autonomy)又は自己決定(self-determination)ということです。患者さんの治療方針を決定するにあたり、医師には伝統的に高度の臨床上の自律性が認められていました。しかし、多くの国において政府や、医師に関わるその他の規制当局によって医師の自律性は抑制されつつあります。一方、医師は臨床家としての、また専門職としての自律性を一層重視し、それを出来る限り守ろうとしています。2002年に発表された米欧合同医師憲章の中でも、医師は患者さんの福利優先を守るためには市場原理に基づく圧力、社会的圧力、管理上の強い要求などによって動じてはならない、と述べています。またこの憲章では患者さんの自律性に関しても言及して、医師は患者さんの自律性を尊重しなければならない、と述べ、また医師は患者さんが治療に関して十分に説明された上で患者さん自身が決断できるようにしておかなければならない、ことが記されております。医療においては医師の自律性のみならず、患者さんの自律性も尊重されなければならない時代になっていることを十分に理解し、認識していただいて医療に従事していただきたいと思っております。諸君がこれから医師として仕事をされる際には、自分の能力を十分に発揮され、患者さんの痛みを自分の痛みとして患者さんに対処し、自身の規範に基づいて行動すると共に、患者さんの自律性を尊重して患者さんのためにご尽力いただきたいと思っております。

さて、諸君はこれから医師であると同時に一社会人として社会に出て行かれるわけですが、これからの人生は必ずしも平坦ではありません。医師として、また社会人としてこれからの人生を送っていく上で特に持っていて欲しいのは「他者への思いやりの気持ち」です。

孔子の著した「論語」の中で、弟子の子貢が孔子に次のように尋ねるところがあります。「人生において一言で終生それを行っていくべきことがありますでしょうか」と。これに対して孔子はそれは「恕」である、と答えます。この言葉を国語辞典で調べると「思いやりか、許す」と書いてあります。そして孔子は更に続けて、「己の欲せざる所、人に施すこと勿(な)かれ」と述べています。自分がして欲しくないことは他人にもしてはいけません、ということです。一般の人に対しても「思いやり」の気持ちを持って接していただきたいと思いますが、特に患者さんに対しては「思いやり」の気持ちを忘れずに診療に従事していただきたいと思っております。「思いやり」というのは相手の人の立場にたつて物事を考えることが出来なければ生まれません。うわべだけでなく自然と態度に出てくるように常日頃から精進して頂きたいと思っております。また、若い先生方はややもすると検査結果の解釈に一生懸命になったり、画像診断に一生懸命になったりして、患者さんの話を良く聞くとか、患者さんの目を見て話をするとか、診察を「率にする」とかが手抜きされているのではないかと懸念いたします。以前に私が診ていた患者さんと廊下ですれ違ったときに、「先生、この頃は余りお腹を触ってもらったことが少ないのですが大丈夫でしょうか」と不安げに話されたことがあります。是非患者さんの気持ちになって、今患者さんは何を希望されているのか、自分が同じ患者さんなら何を知りたいと思うか、を考えながら診療に当たっていただきたいと思っております。ただ単に「病氣」を診るのではなく「心を持った病人」を診ていることを忘れないで、診療に従事され、患者さんの為にご貢献されることを願っております。

諸君のこれからのご発展とご多幸を祈念致しております。最後にもう一度、ご卒業おめでとう。





平成19年度

# 兵庫医科大学附属看護専門学校 卒業式

平成20年3月7日午前10時から平成記念会館において、平成19年度兵庫医科大学附属看護専門学校卒業式が執り行われ、62名が卒業しました。

## 学校長賞授与

優秀な成績をもって卒業する者に贈られるもので、3年間の成績とクラスへの貢献度、出席率などから友浦 節子さんに贈られました。



友浦 節子 (ともうら せつこ)

卒業を迎えた今、学生生活を支えてくださった皆様への感謝の思いでいっぱいです。この学校で教えて頂いたことを忘れず、これからの出会いを大切に、患者さんと共に歩める看護師になりたいと思います。本当にありがとうございました。

全学生を代表して卒業生答辞を行いました。



## 努力賞授与

学校長賞に続き、優秀な成績をもって卒業する者に贈られるもので、3年間の成績とクラスへの貢献度、出席率などからAクラスの往頼 江里奈さん、Bクラスの平石 二葉さんに贈られました。



往頼 江里奈 (おほらい えりな)

この度、沢山の方々支えにより素晴らしい賞を頂き、とても嬉しく思います。恩師、仲間、患者さん...3年間で大切な人々との出会いは、私を成長させてくれました。今後も努力を怠らず、看護を深めていきたいです。ありがとうございました。



平石 二葉 (ひらいし ふたば)

この3年間の学生生活は、楽しいことばかりではなく、辛く厳しいことも多くありました。それらを乗り越えて卒業し、かつこのような素晴らしい賞を頂いたのは、共に歩み支えてくれた人たちがいるからです。全ての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました!

# 卒業式 式辞

学校長 山田繁代

本日ここに無事卒業の日を迎えられた第5期生62名の皆さんおめでとうございます。教職員一同心からお祝い申し上げます。そして皆さんをこれまで支えてこられたご家族の皆様にも心よりお慶び申し上げます。

また卒業する皆さんを、学業の側面から導いてくださった実習機関や関係者の方々、ご多用の中ご臨席賜りましたご来賓の皆様、理事長を始め学校法人役員の皆様にも深くお礼申し上げます。

さて、皆さんはこの3年間、多領域にわたる専門知識の修得を強られ、果ては社会人、医療従事者としての驍やマナーを厳しく教育されてきました。それはおそらく今までの生活からは想像もできなかったことでしょう。しかし、その結果が今日の卒業式に、そして国家免許獲得、さらに社会で通用する医療従事者、即ち看護のプロとしての活躍につながるのです。子供は親の背中を見て育つ、学生は先生の背中を見て育つといわれます。我々教職員はそういう思いを胸にこの3年間皆さんと接し共にがんばってきました。これからは皆さんが先輩として、信じて見習ってよい背中を後輩に見せてほしいと思います。

今、皆さんはこの3年間の思い出が走馬灯のように頭の中をめぐっていることと思います。

67科目におよぶ講義とテスト、1,035時間に及ぶ病院での臨地実習。患者さんや先輩看護師に気を使いながら、時には涙を流す場面もあったかと思いますが、よくがんばりました。

1年次の戴帽式、ナースキャップをいただきキャンドルをもって誓いの言葉を述べられました。医療の現場でくじけそうになった時、あの感激を思い出してください。そして学校祭。1年次のテーマ「ビバ!天晴れナース祭」では、皆で協力して目標を達成するように、そして協調性を備えた看護師になることを、改めて認識されました。

2年次のテーマ「キャッチ・ザ・ウェーブ」では、一つ一つの厳しい学習の波を乗り越え、自分自身を成長させて素晴らしい看護師になろうと誓いましたね。

3年次の「ラブ&ピース 千の風になって届けます」は、あと1年で閉校されることから、例えこの学校祭がなくなっても、この看護専門学校で培った「愛と平和の看護魂」を、千の風に乗せて多くの人たちに届けたい。そのために、全員一丸となってこの形での最後の学校祭を盛り上げるということになりました。

模擬店やイベントでは、学校祭の目的である「活動を通して皆で協力して、1つのことをやり遂げる大切さを学び、協調性を培う機会」になったでしょうか。多人数が共通の目的で作業を行うことは、楽しい部分もありますが、ある種のわずらわしさもあると思います。それは個々の価値観、人生観など異なるわけですから、ある意味で当然ともいえます。

皆さんが目指した看護という仕事は、日常的に人と人のかかわりの中で行われます。他人を理解し、共感し、協調する姿勢が必要です。その繰り返し、コミュニケーションスキルの向上とともに、自分自身を人として成長させてくれるのです。

就職後しばらくは、今までの生活とのギャップにことまどい、特に臨床の現場では、学校で学んだ事が生かされなくてリアルティショックに陥ることも多々あると思います。人間関係に悩むこともあるでしょう。しかし簡単に挫折しないでいただきたい。皆さんはこの3年間で多くの辛く大変なことを経験したはず。 「わんぱくでもいい、たくましく育ててほしい」と我々は願ってきました。そして見事に乗り越えてこられたから今があるのです。一人てよくしても道は開けません。解決できない時は他人の力を借りてください。「耐えれば通ず」必ず支えになってくれる誰かがいます。

医療を取り巻く状況は大変厳しくなっています。救急患者の受け入れ拒否、医療の地域格差、産科・小児科・救急医療の危機等、毎日のようにメディアは伝えています。どのような状況下におかれてもナイチンゲールの「自らの責任を持って、看護の独自性に誇りを持つ」という基本的な姿勢、態度をしっかり身につけてください。

「看護師の社会的評価は看護師自身によってなされるものである」を忘れず誇りを持ち続けて末永く活躍下さい。皆さんのこれからの人生が幸せであることを願って卒業の祝辞とさせていただきます。





# 最近の主な出来事

## 2月 FEBRUARY

7	兵庫医科大学 平成20年度一般入学試験(1次)	(2月8日合格発表)	
	兵庫医科大学病院 平成19年度 兵庫県臓器提供病院連絡会議	兵庫県、財団法人兵庫県健康財団の主催による平成19年度兵庫県臓器提供病院連絡会議が神戸市医師会館市民ホールにおいて実施されました。兵庫県内救急告示医療機関等の医師、看護師等を対象としたもので、本学からは兵庫県臓器移植コーディネーターの藤原さんが兵庫県の臓器移植の現状を説明し、また救命救急センターの丸川教授と橋本病院助手が「脳死下臓器提供を経験して」という演題、多田病院事務部長が「臓器提供における病院経費について」という演題で講演を行いました。	
2	兵庫医療大学 平成20年度一般入学試験前期A日程 (薬学部・看護学部・リハビリテーション学部)	(2月13日合格発表)	
10	兵庫医科大学 平成20年度一般入学試験(2次) (10日、11日)	(2月16日合格発表)	
12	兵庫医科大学病院 外来医療費支払機導入	1号館1階会計に外来医療費支払機が導入されました。従来は4つの会計窓口で会計業務をおこなっていましたが、患者さんから待ち時間を短くしてほしいとの要望が多く、また業務の円滑化を図るため、6台導入されました。受診後、計算受付窓口でお渡しする会計番号票の番号がカウンター窓口上のモニターに表示された患者さんから支払いが可能となり、一定額以上はクレジット・デビットカードでの支払いも可能となりました。診療明細書と一緒にお薬引換券が出力されるので、会計の流れがスムーズになり待ち時間も短縮しました。	
13	兵庫医科大学病院 市民健康講座	「花粉症」をテーマに、耳鼻咽喉科 都築 建三学内講師が第3会議室で講演を行いました。	
16	兵庫医科大学 医師国家試験(16日、17日、18日)	(3月28日合格発表)	
	兵庫医療大学 平成20年度一般入学試験前期B日程 (薬学部)	(2月22日合格発表)	
23	兵庫医療大学 地域連携センター公開講座	「健やかな子育て—就学準備のために—」をテーマに、リハビリテーション学部 作業療法学科 有吉 正則講師がポートピア幼稚園で出張講演を行いました。	
27	兵庫医科大学病院 市民健康講座	「コレステロールが高い」をテーマに、内科冠疾患科 佐古田 剛准教授が第3会議室で講演を行いました。	

## 3月 MARCH

1	兵庫医科大学病院 兵庫医科大学がんセンター 設立記念講演会	→P1-4をご覧ください。	
	兵庫医療大学 平成20年度一般入学試験後期日程 (薬学部・看護学部・リハビリテーション学部)	(3月7日合格発表)	
6	兵庫医科大学 第31回卒業式	→P5-8をご覧ください。	
7	看護専門学校 卒業式	→P9-10をご覧ください。	
	兵庫医療大学 保護者懇談会	→P25をご覧ください。	
8	兵庫医療大学 第3回医療教育ミニ・ワークショップ (8日、9日)	→P25をご覧ください。	
	兵庫医療大学 平成19年度看護学部FD研究会	→P25をご覧ください。	
	兵庫医科大学病院 腎移植200例記念講演会	→P20をご覧ください。	
11	兵庫医科大学 平成19年度兵庫医科大学医学会総会 および第4回学術講演会	9-11講義室にて開催され、学術講演会は4名の発表があり、講演後は活発な質疑が行われました。 講演1「泌尿器科領域における腹腔鏡手術—3Dバーチャル画像の臨床応用—」泌尿器科学 山本 新吾准教授 講演2「事象関連電位を用いた認知機能の検封」内科学 神経・脳卒中科 武田 正中准教授 講演3「聴力改善手術の進歩と限界」耳鼻咽喉科学 三代 康雄准教授 講演4「遺伝性大腸癌について」外科学 富田 尚裕教授	

12	兵庫医科大学病院 第7回クリニカルバス大会	3-3講義室にて「潰瘍性大腸炎 人工肛門閉鎖術バス」、「バリアンツ」をテーマに、下記の演者が発表し、意見交換が行われました。 外科 内野 基助教、9西病棟 波々伯部 公美看護師長、9西病棟 桑田 恭子看護師、医療情報部 宮本 正喜教授、病理課 本田 耕一郎診療情報管理士、地域医療・総合相談センター 矢吹 浩子看護師長	
	兵庫医科大学病院 市民健康講座	「皮膚病の新しい治療」をテーマに皮膚科 榎谷 勝仁講師が第3会議室で講演を行いました。	
	兵庫医科大学 退職記念講演会	→P10をご覧ください。	
15	兵庫医科大学病院 女子学生、女性医師を サポートするための会	→P21をご覧ください。	
	兵庫医科大学病院 市民公開講座	平成19年度科学技術振興調整費「アスベスト関連疾患への総合的取り組み」として、市民公開講座「中皮腫と闘い、ともに生きる」(アスベストによる健康被害を考える)が大阪のザ・フェニックスホールにおいて開催され、下記の演題、演者で講演を行いました。 (後援:大阪府、川崎医科大学、広島大学病院、兵庫医科大学) 講演1「アスベストによる病変と検診」/ 福岡 和也(兵庫医科大学 呼吸器内科) 講演2「胸膜中皮腫に対する手術療法」/ 三村 剛史(広島大学病院 腫瘍外科) 講演3「中皮腫に対する化学療法」/ 栗林 康造(兵庫医科大学 呼吸器内科) 講演4「肺がんの話」/ 中野 孝司(兵庫医科大学 呼吸器内科)	
	兵庫医療大学 地域連携センター公開講座	「メタボリック症候群について」をテーマに、共通教育センター臨床医学(内科学)末廣 謙教授が地域連携センターで講演を行いました。	
22	兵庫医科大学病院 市民公開講座	15日と同様に(財)神戸市教育会館・大ホールにおいて開催され、下記の演題、演者で講演を行いました。 (後援:兵庫県、川崎医科大学、広島大学病院、兵庫医科大学) 講演1(15日と同様) 講演2「胸膜中皮腫に対する手術療法」/ 岡田 守人(広島大学病院 腫瘍外科) 講演3(15日と同様) 講演4(15日と同様)	
25	兵庫医科大学病院 1号館受水槽整備事業 竣工式	8号館北側の敷地に新規に受水槽が設置されました。これにより災害時3日間(72時間)の給水が可能となり、災害拠点病院としての機能充実に貢献しました。	
26	兵庫医科大学病院 市民健康講座	「大腸の検査について(大腸カメラ・注腸等)」をテーマに内科 下部消化管科 藤田 義雄助教が第3会議室で講演を行いました。	

## TOPICS 新入生を迎えました!

去る4月3日(木)に兵庫医科大学入学式が平成記念会館で、4月4日(金)には兵庫医療大学入学式が神戸ポートピアホテルで行われました。入学式の様子は、次号広報vol.194に掲載します。







理事長メッセージ

## 本学の広報活動

理事長 | 新家 莊平

**昨**年8月に、本学総務部から独立した広報室は時流にそった新方針を打ち立て、これまでの広報誌の編集内容を刷新、年間発行回数も増やし、また、6月末には斬新なホームページが完成する等従来の広報活動を更に強化することになりました。

**従**って、早速、新刊号発刊を期して理事長としての何らかの所感を披露すべきところでありますが、関係各位にお伝えしたい昨今の大きな関心事については、すでに先の新年号で触れておりますので、本誌では、大学の広報活動の意義について、述べてみたいと思います。

**周**知の通り、今、日本の高等教育界は加速する少子化や規制緩和による新大学・学部への過剰参入の余波を受けて全入時代に入り、各大学は学生の獲得競争に鎗を削っている状態ですが、その中で最大の課題の一つは強い吸引効果をもたらす所謂ブランド力の強化戦略であるようです。

**先**日、某新聞社が主催する「変わる大学広報」と題したフォーラムで、多数の大学経営陣が参加し、大学サバイバル時代を生き残るために、如何にして学生や父兄をはじめとするステークホルダーに対し、大学の教育や研究の魅力を効果的に伝えていくか、如何にしてブランド力を向上させていくかといった情報発信の戦略についての論議が繰り広げられていましたが、そこでは、大学の存在感やブランド力を増幅させるために必要とされる広報活動の重要性がクローズアップされていました。

**言**う迄もなく、これらの論議はマス教育を主とする一般大学を対象としたものであり、今なお厳しい受験戦争が続く医学部には必ずしも当てはまりませんが、

いずれにしろより優れた学生を確保していくにはブランド力の強化に結びつく積極的な広報活動は欠かすことの出来ない戦略の一つであるでしょう。

**と**は言え、大学のブランド力というのは一朝一夕に形成しうるものではなく、その根底にある歴史、伝統をはじめ、規模、環境、人材、資財やその大学が生み出した成果物等の総合力によって醸し出されるものであり、その総合的な高い評価の実体があって始めてその情報発信がブランド力の向上に結びつくことになるのは言うまでもありません。

**さ**て、本学の今後の広報活動について言えば、外部の目に見えやすい本学の価値や魅力の対外的な情報伝達の重要性もさることながら、外部の目には見えにくい価値についての学内情報伝達の効果も決してないがしろにはなりません。例えば、本学の30余年にわたる成長の延長線上に位置づけされる長期グランド・デザイン、中期事業計画、教育・研究・診療の各面における継続的な改革・改善、そのための組織変革等に関する最新情報を学内で周知徹底し、それによりもたらされる各員の相互理解や問題意識の共有化を計っていくことは、大学関係者全体の連帯感と本学へのロイヤリティの高揚を生むばかりか、大学機能の成果物としての卒業生、研究業績や診療成績の評価と相俟って、本学のブランド力の向上に大きく資することになるでしょう。現在進行中の本学の広報活動がその向上に一翼を担うことができれば意義深いことだと思います。



学長メッセージ

## 新入学・新入職された皆さんへ

学 長 | 波田 壽一

**新**入学及び新入職された皆さん、兵庫医科大学へのご入学及びご就職を心から歓迎いたします。申すまでもなく本学は故森村茂樹先生により昭和47年4月に開学致しました。以来36年の風雪に耐え、大きく成長、発展してまいりました。昨年はポートアイランドの地に本学の姉妹校にあたります、兵庫医療大学が開設され、本学が医師の養成を、兵庫医療大学が医師以外のコ・メディカル(薬剤師、看護師、理学・作業療法士など)の養成をし、共にこれからの医療を担って、社会に大きく貢献することが可能になりました。

**本**学の使命は一言で言えば「良医の育成」でありますし、大学病院としての使命は「特定機能病院として高度先進医療を提供して地域社会に貢献すること」であります。そこでまず新入生・新入職の皆さんには「高い志」を持ってほしいと思います。本学は医科大学でありますので本学に入学されたということは医師になりたいという「志」はあるのだと思いますが、どのような医師になりたいのか、どのような医学・医療の分野で仕事をしたいのか、を常に考え、その目標を達成するためには、今なにをしておくべきか、を考えて毎日を送ることが大切です。

**事**を成就するには①発心、②決心、③相続心(継続心)の3つが大切であると言われる。①の発心ですが、何かをやるという気持ちになること、②もしやる事が決まったら、それを決心にまで高めること、③そして決心した気持ちを持ち続けて努力すること、が大切であります。何かをやるという気持ちを持って、それを直ぐに忘れてしまっただけでは努力に繋げる事にはなりません。いつも心に決心したことを持ち続けて努力することが大切です。

**今**年入学又は入職された方々はそれぞれ今スタートラインに立ったこととなります。論語に「性、相い近し、習えば、相い遠し」という言葉があります。「生まれつきは誰でも似通っているが、学習や日常の過ごし方で夫々に違いが出てくる」という意味です。今年入学、又は入職された方々は今は皆さん互いに差はありませんが、これからの一日一日の過ごし方、勉強の仕方、学生の方は6年間で大きな差がつきますし、入職された方々も医科大学という職場でどのような社会貢献が出来るかを考えて仕事をさせていただくかどうかで、職場での成長の仕方が大きく変わります。いつも昨日の自分を反省し、そこから学び、今日を精一杯に生き、明日は今日より良くなることを信じて、頑張ってくださいと思います。大切なことは一旦心に決めた「高い志」を持ち続けて努力することで、努力の過程で人は大きく成長し、発展するということです。作家の山本周五郎は「人生においては、その人がどのようなことを成したかではなく、どのように生きたかが大事である」と言っています。これからの皆さんの生き方が未来を決めることとなります。新入学・新入職された皆さんのこれからの健やかな成長とご発展を祈念致しております。





# 兵庫医科大学発の 術後癒着スタンダード予防法 確立を目指して



免疫学・医動物学 教授 | 中西 憲司

**腸** 管癒着は腸管同士、あるいは腸管が他の臓器や腹壁に結合した状態です。現在の高度の医療技術を開発しても、開腹手術の実に60%以上に腸管癒着が発生します。特別な手術でなく、盲腸の手術や、帝王切開などでも、手術後1週間で癒着が起こります。多くの患者さんは、術後1年以内に腹痛や、頑固な便秘、腹部膨満感などの症状で来院されます。癒着がひどくなると、腸閉塞を起こし、再手術が必要となります。女性の場合は不妊の原因となります。この様に、手術自体は成功しても、患者さんが生涯癒着に苦しめることがあります。当然、医療費も膨大となります。そのため、術後癒着の予防が大事なのですが、現在、根本的な予防法はありません。

**腸** 管癒着の発症は、血液が凝固する機序に類似すると考えられます。手術で炎症が起こり、フィブリンという繊維タンパクが腸管壁に沈着します。このフィブリンが糊の働きをして、近くの腸管あるいは臓器に付着します。さらに、付着部位に血管が発達してきますと、腸管同士強固に癒着して一塊となり、もはや両者を引き剥がせなくなります。

**今** 回、私達は、人の手術に用いる止血鉗子を、マウスの盲腸に1秒間だけ接触させるだけで、1週間以内に強固な癒着を形成する腸管癒着モデルを確立しました。このモデルを用いて、癒着形成が免疫学的機序を基盤とすること、さらに肝細胞増殖因子(HGF)が癒着形成を阻止できることを、世界に先駆けて発見しました。私達の研究成果は、ネイチャー・メデシンに掲載されました。これを受けて、様々な媒体(新聞:朝日、読売、毎日、日経、産経、神戸、共同通信、時事通信、その他、テレビ:NHK、インターネット)で報道されました。ネイチャー・メデシンは、医学(研究・実験)のカテゴリーで、現在No.1にランクされ、そのインパクト・ファクターは28.588です。本研究は、本学外科学大学院生の小坂久君(外科学)と藤元治朗教授、そして免疫学・医動物学の善本知広准教授と私の共同研究です。完成までに約4年間要しました。小坂君は研究進捗状況に応じて、学会で研究発表してきましたが、正直なところ学会の反応は今一つでした。周りに騒がれず研究できたのがよかったようです。藤元教授の口癖も「じっくりやりましょう」でした。



PAI-1は癒着を促進し、一方、tPAは癒着を抑える

**詳** 細は省かせて、ただ、研究の骨子だけを紹介します。止血鉗子を当てた腸管には、NKT(ナチュラルキラーT)細胞と呼ばれるリンパ球が、術後3時間から増え始めます。また、熱刺激に反応して神経末端から炎症性の神経ペプチドが放出されます。神経ペプチドはNKT細胞を刺激して、ウイルス増殖を防ぐタンパク質の一種「インターフェロンガンマー」の産生を誘導します。次に、インターフェロンガンマーの作用でPAI-1が活性化されます。通常、私達の体でフィブリンが作られても、これを溶かすプラスミンも作られ、フィブリンの沈着は起こりません。ところが、PAI-1が活性化されると、プラスミンの産生が抑制されます。そのため、腸管へのフィブリン沈着は加速され、腸管癒着が起こります。私達は、インターフェロンガンマーの産生を抑える作用をもつHGFを手術の前日あるいは当日に、マウスに皮下注射するだけで、癒着の程度が5分の1以下に減ることを見いだしました。また、重要なことなのですが傷口の治癒は妨げられないどころか、かえって促進されました。HGFは日本で発見された因子で、既に劇症肝炎に対する治療に効果が試されています。また、共同研究者の藤元治朗教授は、HGF遺伝子を肝硬変を発症したラットに投与して、その治療に成功されています(ネイチャー・メデシン)。私達も是非、兵庫医科大学発の腸管癒着防止薬として、HGF療法を推進していきたいと考えております。



実験的癒着の一例。腸管同士の癒着、あるいは他臓器との癒着がある

# 受験生にとっては、いよいよ本番! ~兵庫医科大学一般入学試験が行われました~



平成20年度一般入学試験状況(1次、2次)  
募集人員:約85名(定員100名)

### 1次試験

試験期日:平成20年2月1日(金)  
試験科目:数学、外国語、理科(物理・化学・生物から2科目選択)  
合格発表:平成20年2月8日(金)午前10時  
合格者数:402名

### 2次試験

試験期日:平成20年2月10日(日)又は11日(月)の選択制  
試験科目:小論文、面接  
合格発表:平成20年2月16日(土)午前10時  
合格者数:83名  
補欠者数:176名



	平成20年度			平成19年度
	志願者数	男	女	志願者数
新卒	379	239	140	415
既卒	1,239	873	366	1,421
検定等	24	18	6	24
合計	1,642	1,130	512	1,860

兵庫医科大学 一般入学試験志願者推移







## 臨床教授就任挨拶

産科婦人科学 | 小森 慎二 <3月16日就任>

**こ**の度、私は産科婦人科学講座の臨床教授を拝命いたしました。大変光栄に感じますとともにその責任の重要性を考えますと非常に身の引き締まる思いであります。

**私**は昭和57年に兵庫医科大学に就職して以来、研修病院、国内、国外留学の期間を除きますと本学には20年余勤務したことになります。入局した当時と比べれば医療を取り巻く環境は大きく変わると共に大変厳しい状況となってきました。特に、最近の産科診療における医師不足による診療体制の縮小は非常に深刻な状況となってきております。このような厳しい状況の時に、臨床教授に就任することは、感奮興起の極みと存じます。

**現**在私たちの教室には多くの医師がいるわけではありませんが、阪神地区の東の拠点病院としての周産期医療・婦人科疾患などの中心的な役割を担っております。そのため、周産期・腫瘍・不妊・内分泌など様々な分野の患者が集まってきます。その患者の方々に特定機能病院として先進的な医療を提供することが私たちの重要な責務であると考えております。

**現**在、教室では香山浩二教授のもとに、私の他に講師3名、助教8名、病院助手3名、レジデント1名の構成で診療にあたっております。教室員を含めスタッフ全員と協力して患者のニーズにあった最新・最良の医療を提供するとともに、学生・研修医に産婦人科診療のすばらしさを伝えていきたいと考えております。

## 学位の授与



中 聡夫

学位論文名

甲第494号(H20.2.7)

Mechanical stretch induced Interleukin-18 (IL-18) expression through Angiotensin subtype 1 receptor (AT1R) and Endothelin-1 in cardiomyocytes  
伸張刺激によるインターロイキン18発現はアンジオテンシン1型受容体及びエンドセリン1を介する



北中 純一

学位論文名

乙第303号(H20.2.7)

Blockade of brain histamine metabolism alters methamphetamine-induced expression pattern of stereotypy in mice via histamine H<sub>1</sub> receptors  
脳ヒスタミン代謝阻害はマウスにおけるメタンフェタミン誘発常同行動発現パターンをヒスタミンH<sub>1</sub>受容体を介して変化させる



渡邊 博文

学位論文名

乙第304号(H20.2.7)

Transdifferentiation into biliary ductular cells of hepatocytes transplanted into the spleen  
脾臓に移植された肝細胞の胆管上皮細胞への分化



## 退職にあたり一言 ご挨拶いたします

物理学 教授 | 村田 宏雄



**兵**庫医科大学に勤めて34年、3月末日をもって退職いたしました。数字の上では長い間ではありましたが、そのあいだの主な出来事などを思い返してみますと、思いの外早く時間が経過したような印象を受けます。まさに先達が言っていたように、光陰矢のごとし、学成りがたし、であります。

**平**成7年(1995)1月17日5時46分の阪神・淡路大震災はなんといっても忘れがたい大災害でした。当時、新家学長を中心として、復興に向けて力を合わせてがんばったことが思い出されます。

**次**に、医学教育体制が大きく変わり、入学後の数年間の学生達は全くゆとりがなくなってしまったことが印象深い。人格形成の大事な時期に、学生達がむしろのんびりとした雰囲気にて学問をし、同時に医師というおよそ50年に及ぶ人生の行く末について考える、そのような余裕がなくなってしまったのはいかにも寂しいことと思われまふ。しかし現実そんなことをしている暇がないことも事実で新しい体制のもとでそれなりの何かが出来上がることが期待されているのです。余計な事を言わずに引退すべしであります。これ以上は年寄りの冷や水となります。これからいろいろなことが走馬燈のごとく表れてくるものでありますでしょうか引退後の暇に任せて思い返し、そのときの楽しみとしておきたい。これまでいろいろところで沢山の方々に出会い、その都度お世話になりました。改めてお世話になった皆様にお礼を申し上げます。



## 定年を迎えるに あたっての御挨拶

生化学 教育教授 | 堀 和子



**今**年3月めでたく定年を迎えることになりました。兵庫医科大学に赴任致したのは昭和48年4月で開学2年目の春です。奇しくも今年は兵庫医療大学が開学して2年目を迎えますので、何か不思議な縁を感じております。

**私**は医学部を卒業後、私達の学年で最後になったインターンを経て京都大学医化学教室で生化学の基礎を学び、本学に助手として着任しました。以来35年間兵庫医大で教育と研究の道を歩んで参りましたが当初は5号館5階の1部屋が生化学教室で齊藤嘉堯教授、神田正幸助教授、2年目に私と実験補助が採用され4人のスタートでした。部屋の真ん中に木のテーブルを二つ合わせた実験台があり、ゲル濾過の大きなカラムがジャケットで被われて設置されておりました。同じ階には病理学、医動物学、生理学等の教室が1部屋ずつあり、突き当たりの人部屋に臨床の先生方がおられたように思います。程なくして1号館の竣工式を迎え、3年目には1期生の生化学の講義や実習がはじまり、出来たばかりの校舎に実習機器を運び入れたり手作りの実習書を作ったりと大変だった記憶があります。研究室は2号館3階に移り10年程経過して現在の9号館に移り、20数年が経ちます。気が付くとずいぶんの年月が流れ、卒業生の御子息が入学するようになり、「ゆく河の流れは絶えずして、、、」を実感しております。兵庫医科大学のますますの発展と果立って行かれる卒業生のご活躍をお祈りしております。





病院長メッセージ

## 特定機能病院としての現状とあり方

病院長 | 山村 武平

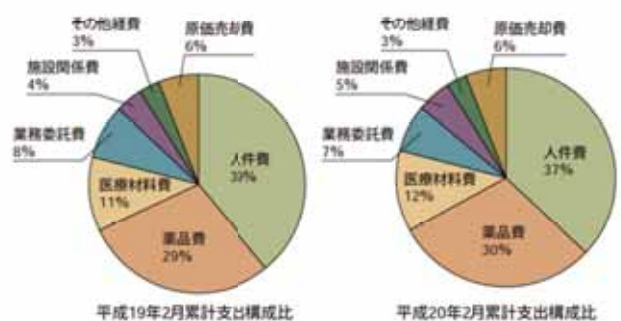
**兵** 庫医科大学病院は、平成5年の医療法第2次改正以降、医療施設機能体系化の一環として、高度の医療の提供・高度の医療技術の開発及び評価・高度医療に関する研修を実施する能力を備え、またそれにふさわしい人員配置、構造設備を有する大学病院を中心とした全国に83病院ある、「特定機能病院」として位置づけられています。

**こ** の病院の要件を遂行するためには、一般病院では提供することが困難な難度の高い診療の提供に努める必要があり、各診療科ともそれぞれ特色ある高度の医療の提供や研究開発、また研修活動を展開しつつありますが、その際同時にそれらに係る臨床検査や病理診断を適切に実施する体制を確保しなければなりません。これに関しては、現在臨床検査部では近々自主的運営により活性化を図る改革の途上であり、また病院病理部でもOne day pathologyを目指した体制を整えつつあり、両者とも各診療科同様、意気は高いと言えます。

**し** かしながら、これらで高度医療に係るリスクの説明とその同意や高度医療を実施中での安全性の確保、諸記録の記載等、医師・ナースからコメディカル・職員に至るまで精神的・時間的負担は急速に増大しています。この点は、業務内容を見直し、改善すべき点は早急に変えてゆく必要があります。また、時間外業務に対しては相応の対価の支給も進めてゆく体制の早急な構築が必要です。

**一** 方で、高度の医療を実施するための医療機器・薬品の購入費は毎年、前年度比105~110%もの増加を示しており、病院の収支を圧迫しています。

**支出**  
平成20年2月累計支出構成比の17%を占める人件費は対前年比103%、構成比30%の薬品費は対前年比106%、構成比12%の医療材料費は対前年比112%、これらの支出構成比79%を占める項目合計では対前年比106%の伸び。



高度医療を安全に実施し、さらなる先進的医療の開発のためには、それに足る国庫補助が不可欠ですが、医療費抑制政策が続き、これを望めない現状では、職員ひとりひとりが経営的マインドを研ぎ澄まし、行うべきことは行う中で、可能な限りムダを省く決意を持って実行する必要があります。そして一方で、チーム医療、地域医療連携を密にしながら患者さん、さらには市民が特定機能病院の存在感と重要性を実感する中で、同窓会(緑樹会)を中心とし、地域の医療機関さらに市民を巻き込んだ「兵庫医大病院を守り育てる勝手連」のような組織が立ち上がり、病院と一体となりながら高度医療の担い手である特定機能病院を盛り立てて頂けるよう、その方向に向かって進めて行くべきであろうと思っています。

## 腎移植200回を達成！ 記念講演会を開催



泌尿器科学 教授 | 島 博基

### 腎移植200回実施記念に寄せて

**こ** のたび、当教室におきまして平成19年7月に200回の腎移植を達成することができました。昭和58年8月の第1例目から24年目です。関係各位に当たっては常日頃から腎移植治療に多大なご理解、甚大なご支援を頂き、教室員一同心から感謝いたしております。腎移植は移植医だけでなく、あらゆる分野の医師と医師以外の医療従事者の貢献なしに成り立ちません。その成功はまさにチーム医療の成果であります。

**ま** た、献腎していただいたご提供者、ご遺族の方々への命に対する深い愛に感謝いたしますと共に、ご提供者の冥福を心から祈念いたします。また生体腎移植は、ドナーになられる方のレシピエントに対する愛なしには実施することが不可能です。腎移植の成功によって患者さんが人工透析療法から抜け出すことができたときの喜びのお顔を見ますと医療従事者として望外の喜びを感じます。

**当** 教室における腎移植の25年を振り返りますと、移植医の不断の努力はご指導頂いた諸先輩方や関係各位の心あたたまるご支援の賜物と皆様方に深い感謝の心を教室員および兵庫医科大学泌尿器科学教室同窓会一同を代表して捧げます。本当にありがとうございました。



腎移植200回を記念した講演会の様子(泌尿器科学 野島道生講師)

**腎** 移植の歴史を振り返りますと偉大な先達の限りない努力が現在の成果になっていることが理解されるのですが、諸外国に比べますと、非常に厳しい移植の環境となっています。その一つに1997年に我が国で施行された臓器移植法があります。この法案が立案されて以来脳死ドナーからの臓器提供は65例です。心停止後の腎提供を含めても献腎の提供が極端に少ないことが日本の腎移植の桎梏(しごく)となっています。外国の一部(欧州)ではすでに他国の移植希望者を今後受け入れないとの態度を表明しており、腎移植だけでなく、心移植などでも大きな問題となっています。これらの問題の解決には脳死ドナー提供の環境を整える必要があります。特に、今回の国会で、中山移植法案が審議に登り可決される必要があります。中山法案は欧米並の死体腎提供のための基準を採用しており、現況を打開するためにはこの法案を国会で可決する必要があります。この法案が廃案になれば、日本における移植は当分の間氷河時代を迎えることになるでしょう。私自身は現在行われている腎移植は次の時代への過渡期の治療であり、いずれは生体内留置人工腎臓あるいはiPS(人工多機能)細胞(induced pluripotent stem cells)を用いて作られた拒絶反応のない腎臓が移植腎として使われるようになるだろうと考えています。しかし、現実には人工透析を受けている患者数は我が国では265,000人に及び、その内、腎移植を希望している患者さんは約120,000人です。生体腎、死体腎、脳死ドナーからの提供も合わせて年間の腎移植数は2006年では1,136例です。移植医療がより多くの腎不全患者さんに貢献するためには中山法案可決に向けて、国会議員の理解を深めることが大切です。




## 「女子学生、女性医師をサポートするための会」開催 積極的な意見交換が行われました!(平成20年3月15日 14時から 9-2講義室にて)

日本医師会の男女共同参画委員会と兵庫県医師会、兵庫医科大学医師会が協力して、兵庫県の医育機関として初めて「女子学生、女性医師をサポートするための会」が開催されました。

講演や意識調査の報告、そして座談会では子育て中の女子学生や研修医、医師として現場で働いている方々を交えて、意見交換を行いました。

式次第	
(総合司会)	兵庫医科大学医師会 会長 谷澤 隆邦
1.開会挨拶	兵庫県医師会 会長 西村 亮一
2.挨拶	学校法人兵庫医科大学 理事長 新家 莊平
3.講演	「女性が働きやすい組織とは?」 ～女性ダイバーシティにあたっての重要なポイント～ プリストル・マイヤーズ株式会社 コーポレートビジネス・コミュニケーション部門 部門長 後藤 由美
4.報告	「学生・医師・保護者へのアンケート結果」 超音波センター 准教授 飯島 尋子
5.座談会	「女性のキャリアパスを考える」 司会:神野 早苗(眼科講師)、玉置 知子(臨床遺伝部部長) (参加者)○兵庫県医師会女性医師の会副会長 ○兵庫医科大学病院 病院長 ○兵庫医科大学病院 産後臨床研修センター長 ○子育て中の学生の代表 ○女性医師の会の代表 ○後藤部門長



兵庫医科大学医師会  
谷澤 隆邦 会長

### 講演 「女性が働きやすい組織とは?」

プリストル・マイヤーズ株式会社 コーポレート/ビジネス・コミュニケーション部門 部門長 後藤 由美 氏は講演で「女性ダイバーシティ(職員一人ひとりが持つ様々な違いを受け入れ、それぞれを価値として活かすことで活性化させていこうという考え方)の推進にあたって重要なポイント、情報収集や現状分析を組織として取り組むことの必要性、トップの理解が必要不可欠、職場全体として問題意識をもち、解決に向けて取り組むことである」と話されました。



### 報告 「学生・医師・保護者へのアンケート結果」

超音波センター 准教授 飯島 尋子 氏(4月1日に臨床教授に昇任)は、「女性の労働環境はまだまだ整備されていない状況(10年前と比較しても改善されていない)」と報告し、やりがいやモチベーションだけで働き続けることは難しいと話されました。女子学生の割合が全国で一番多い本学(東京女子医科大学除く)で環境を整備する意義は非常に大きく、かつ男性医師の労働環境改善にもつながるとし、ともに尊重しあえる職場となることが望ましい、と結論づけられました。



### 座談会 「女性のキャリアを考える」

子育て中の女子学生から、保育所の預け入れ時間の拡張(朝8時から夜の8時まででは利用は難しい)、病児保育所の創設、復帰後のフォローアップ体制の確立、フレックスタイムの導入とその制度利用が可能な雰囲気職場の醸成及び上司の理解が必要であるとの意見がでました。



また、将来的には臨床研修センターでの復職支援プログラムの構築や、教育課程の中で、医師として働くことの意義やモチベーションを保つ工夫を身につけられるようにしたい、との意見もあげられ、働く女性の職場環境(ハード面)を改善していくことは必要だが、周囲の支援や意識の改善(ソフト面)も同時に推進していく必要があるとの見解で終了しました。

※この秋にPETセンター南側に保育所がオープン予定

## 乳腺・内分泌外科を開設しました 乳腺・内分泌外科診療部長 三好 康雄



向かって右前列が三好診療部長

昨年11月に大阪大学より乳腺・内分泌外科部長に着任し、乳がんを中心に診断から手術、さらにはホルモン剤や抗癌剤による治療を行っています。

乳がんは、しばしばマンモグラフィーによる検診で石灰化が発見されます。石灰化がなくて、しこりを形成していない段階では、ステレオガイド下での針生検(マンモトーム)が不可欠ですが、当院ではその装置を有しています。さらにセンチネルリンパ節(がんが最初に転移するリンパ節)生検術を行い、転移のない場合には腋窩リンパ節の郭清術を省略することによって上腕の機能を温存し、乳房の術後の整容性を保



針生検(マンモトーム)装置

つために、形成外科と共同で乳がんの手術と同時に乳房再建術を行う一期再建術にも対応できる体制を整えています。

術中にリンパ節転移の有無や乳がんの切除が適切に行われたかどうか、病院病理部による術中迅速診断を行い、術後には放射線科と連携して放射線治療を行っています。また再発予防を目的にホルモン療法や通院による化学療法(抗がん剤治療)も行っています。

このように乳がんの診断から手術、術後療法まで幅広く対応できる診療体制を整えております。

## 高い技術と功績が認められました 病理診断を行う病院病理部の技師2名が受賞しました。



厚生労働大臣表彰  
病院病理部  
山本 格士 主任技師

平成20年2月8日(金)ホテルオークラ東京で行われた、(社団)日本臨床衛生検査技師会の創立55周年・法人化45周年記念式典において、表彰状と金杯が授与されました。

これは、多年にわたり臨床衛生検査業務を通じて国民医療の向上発展に寄与し、顕著な功績があったとして外添要一厚生労働大臣より表彰されたものです。



財団法人兵庫県健康財団  
「平成19年度  
がん予防功労者表彰」  
病院病理部  
鳥居 良貴 副主任技師

平成20年2月22日(金)ラッセホール(神戸)において、財団法人兵庫県健康財団の「平成19年度がん予防功労者」として表彰されました。

これは、多年にわたる細胞診検査業務等を通して兵庫県のがん予防事業の推進に貢献し、県民の医療および健康衛生の向上に寄与したことが評価されたものです。







学長メッセージ

## 2年目を迎えた兵庫医療大学

学長 | 松田 暉

**兵** 庫医療大学は昨年4月にポートピアで開学し今年はやや2年目を迎えました。初年度は何もかも手探り、試行錯誤の連続でありましたが、学校法人兵庫医科大学はもとより兵庫医科大学ならびに同窓会関係の皆様のおかげで、何とか良いスタートを切ることが出来ましたことに改めて御礼を申し上げます。

**本** 学も2年目を迎え、いよいよ本格的に大学の目指す姿を作っていかなければなりません。本学の使命は、医療現場で信頼され活躍できる次世代の医療専門職者を、兵庫医科大学との緊密な連携のもとで育て、世に出すこととあります。それを支える強力な輪は、ポータルな教育環境でありチーム医療教育であります。本学は薬学部、看護学部、リハビリテーション学部(理学療法学科および作業療法学科)の3学部4学科よりなり、これを共通教育センターが支えるという形で、上に掲げた目標と2つの合言葉のもとで、互いに連携し、協力し、意見交換しながら初年度の教育並びに2年目の入試を進めてきました。

**さ** て今年には学生数も倍増し、教員組織も充実し、2年生での学生教育自体もより専門的、臨床的になり、また臨床現場での実習も始まります。設置申請で示したカリキュラムを粛々と進める中で、本学の特徴を如何に発揮し、伸ばしていくかがこれからの重要な仕事であります。施設面では、素晴らしいキャンパスが出来て学生諸君も喜んでいますが、残念なことは体育館の設置工事開始が本年にずれ込んでしまった事です。多額の寄付金を頂き、予算的には建設可能であります。今は文部科学省の許可待ちという状況です。学生からの要望の第1位が体育館の早期実現でありますので、できるだけ早く完成を願っております。



兵庫医療大学全景



兵庫医療大学ポートウイング(P棟)



兵庫医科大学病院での早期臨床体験実習



チュートリアル(グループ討議)



図書館



オクタホールでの授業(医療科学概論)

**教** 学関係での本年の目標は、まず兵庫医科大学との連携による医学医療連携教育プログラム計画の推進であります。既に早期臨床体験実習は兵庫医科大学病院で無事済ませ、本年も計画されています。これを含めた横断的カリキュラムは現状では3学部間の連携であり、医学部を交えたポータルな連携はこれからです。互いのタイムなカリキュラムのなかで、いかにこの連携を進めていくかが問われています。医学・医療教育研修センターを立ち上げながら具体的なカリキュラムを作っていくと鋭意協議を進めています。乞うご期待という所です。

**全** 入時代にはいって入試戦線は一層厳しくなります。本学の特徴を高校生や進路担当の先生方に知っていただくことが重要で、そのためにも広報活動は重要であり、オープンキャンパスはじめホームページなど広報には一層力を入れて行きたいと思っています。大学案内も一新し、近々皆様の所にも送らせていただきます。

**今** 年はやっと2年目を迎えたところで、目標達成までの道のりはまだまだ遠いのですが、これまでの経験を生かし、本学の特徴を大事にして、教職員一同目標に向かって進んでいきますので、一層のご理解と支援をお願い申し上げます。





## 保護者懇談会を開催

保護者の方々との理解と親睦が深まりました



**開**学以来、はじめての保護者懇談会を3月7日(金)午後3時から開催いたしました。当日は、1年生の保護者の皆様から126名出席されました。最初にオクタホールにおいて、松田学長より本学1年の歩みと現況報告があり、土肥学生部長から学生生活の現況について、西原教務部長からは学習の状況について報告を行いました。続いて「医療科学概論講義および初期病院体験実習」の紹介ビデオを観ていただきました。

**そ**の後、学部毎に分かれて学部別懇談会を実施し、各学部学科の報告と来年度計画について懇談

と質疑応答が行われました。また、希望された保護者との個別面談も実施しました。午後5時からは、学内レストランにおいて懇親会を行い、75名の保護者の皆様に参加され、教員と保護者、さらに保護者同士の親睦が深まりました。

**こ**れを契機として、本学は保護者の皆様と緊密な連携と協力のもと、より一層、教育を充実させるために、「保護者の会」設立に向けて準備を進めることとしております。

## 第3回医療教育ミニ・ワークショップ開催

3月8日、9日の2日間、スペースアルファ神戸(神戸市北区)において第3回医療教育ミニ・ワークショップが開催されました。

1日目は「相互理解力の構築」を目的として、3学部4学科のカリキュラムの基本内容について、各学科代表教員による発表、質疑、およびグループ討議を行い、相互理解を深めました。2日目は、グループ討議発表の後、「カリキュラムの構造と評価」について、岐阜大学医学教育開発研究センターの藤崎和彦教授よりご講演いただきました。第3回目となる今回のワークショップは、平成20年度着任予定の専任教員を含め総勢86名の教員が参加し、これまでで最も充実した内容となりました。



## 平成19年度看護学部FD研究会開催

3月8日、平成19年度看護学部FD研究会が開催されました。講師に岐阜県立看護大学の平山朝子学長をお招きし、「保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の一部改正にかかる看護学の大学教育のあり方について」と題してご講演いただきました。平成20年度着任予定の専任教員も含め、総勢39名の看護学部教員が参加し、同規則等の一部改正を踏まえ、本学看護学部の今後のあり方について議論しました。



## 第2期生が決まりました

～兵庫医療大学一般入学試験が行われました～



一般入学試験前期A日程

学部学科	募集人数	試験科目	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	約60名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 数学:数学I・II・A・B<数列・ベクトル> 理科:化学I・II	290	285	151	1.9
看護学部 看護学科	約60名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 国語:国語総合(古文、漢文除く) 理科:化学Iまたは生物Iより1科目選択	434	426	122	3.5
リハビリテーション学部 理学療法学科	約25名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 数学:数学I 理科:化学Iまたは生物Iより1科目選択	263	259	36	7.2
リハビリテーション学部 作業療法学科	約25名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 国語:国語総合(古文、漢文除く) 理科:化学Iまたは生物Iより1科目選択	68	67	36	1.9

試験期日:平成20年2月2日(土) 試験場所:本学キャンパス(薬学部・リハビリテーション学部)・ワールド記念ホール(看護学部)  
合格発表:平成20年2月13日(水)

一般入学試験前期B日程

学部学科	募集人数	試験科目	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	約40名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 理科:化学I・II	210	148	61	2.4

試験期日:平成20年2月16日(土) 試験場所:本学キャンパス  
合格発表:平成20年2月22日(金)

一般入学試験後期日程

学部学科	募集人数	試験科目	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	約10名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 数学:数学I・II・A・B<数列・ベクトル> 理科:化学I・II	100	95	16	5.9
看護学部 看護学科	約10名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 国語:国語総合(古文、漢文除く) 理科:化学Iまたは生物Iより1科目選択	96	90	11	8.2
リハビリテーション学部 理学療法学科	約5名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 小論文:600字以内 理科:化学Iまたは生物Iより1科目選択	58	57	7	8.1
リハビリテーション学部 作業療法学科	約5名	外国語:英語I・英語II・リーディング・ライティング(リスニングを除く) 小論文:600字以内 理科:化学Iまたは生物Iより1科目選択	17	15	10	1.5

試験期日:平成20年3月1日(土) 試験場所:本学キャンパス  
合格発表:平成20年3月7日(金)



## 理事・評議員の異動

### 理事



就任 島 博基 理事 [平成20年4月1日付]

退任 植松 邦夫 理事 [平成20年3月31日付]

辞任 垣下 榮三 理事 [平成20年3月31日付]

### 略歴

昭和19年生まれ。48年大阪大学医学部医学科卒業、49年ECFMG資格受領、56年医学博士(大阪大学)。48年大阪大学医学部付属病院臨床研修医、50年国立大阪病院泌尿器科勤務、51年兵庫医科大学泌尿器科学講座助手、52年大阪大学蛋白質研究所代謝部門へ国内留学(1年間)、56年米国ハーバード大学医学部外科系リサーチフェローとして留学(2年10ヶ月)、59年兵庫医科大学泌尿器科学講座講師、63年米国カリフォルニア大学医学部解剖学教室発生学部門へ客員助教授として留学(2年間)、平成3年兵庫医科大学泌尿器科学講座助教授、8年医学・医療情報室副室長(兼任)、10年泌尿器科学講座教授、11年先端医学研究所発生生殖部門教授(兼任)、19年同家慢性腫瘍部門教授(兼任)、19年兵庫医科大学病院副院長、同7月腫瘍評議会統括部長。

### 評議員

就任 島 博基 評議員 [平成20年4月1日付]

退任 植松 邦夫 評議員 [平成20年3月31日付]

辞任 垣下 榮三 評議員 [平成20年3月31日付]

### 理事

新家 莊平

波田 壽一

松田 暉

山村 武平

岩崎 忠昭

太城 力良

谷澤 隆邦

佐藤 禮子

森田 泰夫

島 博基

細見 基信

井植 敏

森谷 伊三男

飯田 俊一

西村 亮一

畑 守人

高岡 道雄

### 監事

森 芳茂

岡本 茂登

### 評議員

新家 莊平

波田 壽一

松田 暉

森田 泰夫

山村 武平

村田 宏雄

鈴木 敬一郎

岩崎 忠昭

太城 力良

谷澤 隆邦

香山 浩二

佐藤 禮子

土肥 信之

西原 力

土居 洋子

西崎 知之

野口 光一

後藤 章暢

島 博基

大江 与喜子

細見 基信

服部 益治

谷 洋一

井植 敏

吉岡 濟

安富 保

森谷 伊三男

飯田 俊一

菊池 英彰

西村 亮一

大森 綾子

畑 守人

東 和夫

梶平 司

中野 潤一

山中 若樹

今井 雅尚

木曾 賢造

## 平成20年4月1日組織改正

### 【学校法人兵庫医科大学 物流センター設置準備室】

物流センターは、医療材料、医薬品等の購入から搬送、消費までの効率的な物流管理機能の構築のためのSPD化とこれによる継続的なコスト削減、調達コスト削減を図ることを目的としており、中期事業計画に掲げられています。同センターの構築に向けて、「物流センター設置準備室」が新たに設置されました。

### 【学校法人兵庫医科大学 内部監査室】

本学経理規則第9章に基づく内部監査実施に関し必要な事項を定める「学校法人兵庫医科大学内部監査規程」が制定され、対象となる業務監査、会計監査、資産保全監査及びシステム監査を担当する部署として「内部監査室」が新たに設置されました。また、設置に伴い「法人施設監査部」が平成20年3月31日をもって廃止されました。

### 【兵庫医療大学 神戸キャンパスオフィス】

昨年4月の開学から1年を経過したことで、現状での課題を踏まえた上で完成年度に向けてより効率的運用を行うため、神戸キャンパスオフィスの編成を一部改正しました。

現 行	改 正
教育・学生支援グループ	教育・学生支援グループ 学籍、授業・履修管理、各学部教務事務、学生生活指導、課外活動、奨学金、健康管理等を担当 ※就職業務の役割・機能は、キャリアデザインセンターが学生支援の一環として担当
入試・就職グループ	入試グループ 入試企画・調査・分析、入試制度、入試実施計画、募集要項等作成を担当
図書館・情報グループ	広報グループ 大学広報、入試広報の他、危機管理、各システムの管理・運営、情報教育支援等を担当
	図書館グループ 図書館の管理・運営の他、学術データベース・電子ジャーナル提供等を担当
管理・運営グループ	管理・運営グループ 文科省等申請、庶務、秘書業務、地域連携、産官学連携・共同研究等推進、諸費出納、調達、科研費、営繕等を担当

### 【兵庫医療大学 保健管理センター】

現在の「学生保健室」及び「学生相談室」の機能を統括し、①学生の健康、精神衛生の保持増進、②学生の相談への対応、③外傷・疾病に対する応急対応、④学生のニーズや社会傾向の把握を目的に学生の健康管理体制を大局的に計画・実行する「兵庫医療大学保健管理センター」が新たに設置されました。



## 規程等の制定・改正 (規程等の全文は学内ネットに掲載)

制定・改正日:NO.1・2(平成20年2月19日)、NO.3(平成20年3月1日)、NO.4(平成20年3月24日)、NO.5以降(平成20年4月1日)

No	項目	制定・改正の趣旨
1	兵庫医科大学共同研究規程	学内研究を除外、研究期間の変更、間接経費、税制優遇制度、知的財産権の取に整合性を図る等について改正
2	兵庫医科大学受託研究規程	受託研究事務取扱細則を廃止、税制優遇措置、知的財産権の取扱について明記、共同研究規程との整合性を図る等について改正
3	物流センター設置準備室規程	学校法人兵庫医科大学物流センター開設にあたり、センターの円滑な立上げ及びセンターに必要な体制、規則、業務内容等を整備するため制定
4	兵庫医科大学特命教授設置規程	特命教授として採用された者を教授として任用替える場合の規程の改正
5	学校法人兵庫医科大学内部監査規程	経理規則第9章に基づき、内部監査実施に必要な事項を定めた。これにともない法人施設監査部は廃止する
6	兵庫医科大学指定校等奨学金貸与規程	看護師、助産師の奨学金を指定校以外の看護専門学校・看護系大学を対象を広げることにより看護職員の人材確保増加を図るための改正
7	兵庫医科大学学則	関西学院大学との学術協定に基づき当該大学の学生を科目履修生として受け入れるための改正
8	兵庫医科大学大学院学則	大学院学生の成績評価基準の変更、「がんプロフェッショナル養成プラン」の採択に伴い設置された研修生コースの単位付与及び先端医学研究所 家族性腫瘍部門廃止に伴う授業科目削除について改正
9	教務に関する規程	関西学院大学との学術協定に基づき当該大学の学生を科目履修生として受け入れるため及び卒業試験から講座別・系統別に実施する試験を削除するための改正
10	兵庫医科大学入試センター規程	入試センター長の主な業務を入試広報活動全般とし、入試運営委員長との役割を分担し、専任の教授以外からも選出できることとする改正
11	兵庫医科大学科学研究費補助金取扱規程	科学研究費補助金で購入した備品は当該補助事業が終了している場合でも当該研究者の求めがあれば本人に返還することとする改正
12	兵庫医科大学臨床実習統括責任者に関する内規	教務委員会規程第5条に基づき臨床実習統括責任者の目的、職務、権限、任期等について制定
13	兵庫医科大学大学院学生研究助成規程	委員会の構成員の変更・任期の明記・手続き等の改正
14	兵庫医科大学大学院学費減免内規	大学院入学を希望する本学職員の学費について、収入の額に応じて学費の減額を行うこととし、従来の大学院学費減免内規を廃止し、減免内規を制定
15	兵庫医科大学病院臨床研修医規程	臨床研修医の違法アルバイトの再発を防止することを主な目的としアルバイトにかかる関係条文を整備し、さらに、勤務時間、給与、休日等の就業条件を盛り込む等、臨床研修医管理規程を全般的に改正
16	兵庫医療大学聴講生の取扱いに関する規程	兵庫医療大学学則に基づき聴講生の取扱いについて制定
17	兵庫医療大学受託生の取扱いに関する規程	兵庫医療大学学則に基づき受託生の取扱いについて制定
18	兵庫医療大学研究生の取扱いに関する規程	兵庫医療大学学則に基づき研究生の取扱いについて制定
19	兵庫医療大学科目等履修生の取扱いに関する規程	兵庫医療大学学則に基づき科目等履修生の取扱いについて制定
20	兵庫医療大学保健管理センター規程	学生の心身の健康管理を大局的に計画・実行するための機関として設置する「兵庫医療大学保健管理センター」に関する必要な事項を制定

## 兵庫医療大学のための募金 状況報告

「兵庫医療大学」のための募金活動を平成18年5月に開始して以来、これまでに教職員をはじめ、後援会(保護者)、緑樹会(卒業生)、名誉教授、退職者等(612名)は言うに及ばず協力医療機関や関連病院等を始めとする幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。本学法人といたしましては、ご協力賜りました方々のご芳名を大学広報に掲載させていただき、感謝の意を表したいと存じ、下記のとおり報告させていただきます。

皆様からご寄付いただきました寄付金を兵庫医療大学の教育研究用施設整備等充実に利用させていただくとともに、これからも全力で大学の合理化推進等により、必要資金確保に向けて自主的努力を重ねてまいります。今後とも関係各方面からのさらなるご支援を仰ぎお力添えをいただきたく、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

募金推進室  
18. 5. 2~20. 2.29

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	284件	566,824,000円	612件	156,090,000円	896件	722,914,000円
入金	265件	437,224,000円	601件	155,145,000円	866件	592,369,000円

### 寄付申込者ご芳名・法人名一覧

20. 1. 1~20. 2.29

#### 企業等法人(11法人)

300,000円 株式会社 阪急ホテルマネジメント様  
(ご芳名のみ記載)  
西日本旅客鉄道 株式会社様  
株式会社 スズケン様  
株式会社 ケーエスケー様  
マイラン製薬 株式会社様  
シーメンス旭メディック 株式会社様  
ノボルディスクファーマ 株式会社様  
株式会社 アンクレーージュ様  
株式会社 衛生センター様  
匿名 2社

#### 関連病院等(1法人)

(ご芳名のみ記載)  
特別・特定医療法人 愛仁会様

#### 後援会(1名)

(ご芳名のみ記載)  
福田 正悟様

#### 緑樹会(1名)

100,000円 山村 修様

#### 教職員(2名)

(ご芳名のみ記載)  
関 眞様  
戴 毅様

#### 寄贈

[絵画] 藤井 文子様



津田 和一作



[陶板] 大塚オーミ陶業 株式会社様



エドゥアール・マネ作



エドガー・ドガ作



アノラ・スペンス作



ポール・セザンヌ作

※兵庫医療大学(図書館・ラウンジ・セントラルオフィス)に展示



# 卒業生紹介

第9期生 森下 豊さん  
(現) 奈良県橿原市長

## 略歴

昭和61年3月 兵庫医科大学卒業  
昭和63年6月 兵庫医科大学病院第5内科(呼吸器)入局  
平成4年5月 森下内科医院開業  
平成7年1月 社会福祉法人豊生会設立(理事長就任)  
平成7年4月 奈良県議会議員初当選 以降連続3期務める  
平成19年11月 奈良県橿原市長初当選



## 市長として、医師として何をなすべきか

私の父と祖父はともに県議会議員をしており、私は長年その姿を見てきました。政治家の仕事が大変であることは分かっておりましたので、私は政治家以外に自分のやりたいことを見つけて医師になりました。しかし、阪神大震災の年に父が倒れて亡くなる前に「まだまだやるべきことがたくさんある。お前を後を頼む」と言われたのがきっかけで政治の世界に飛び込む決意をしました。実際に転身してみると、父の言葉どおり「やるべきこと」が山積している現状を目の当たりにしました。

私は奈良県議会議員として活動後、橿原市を預かる市長という立場になりましたが、橿原市だけのことを考えても、結局近隣市町村が一体となって物事に取り組まなければ何事も改善しないと実感しております。ゴミや医師不足の問題などはまさに橿原市だけで解決できるものではありません。奈良県は妊産婦の受け入れ拒否で大変な問題に直面しておりますが、広域的な視点から物事を捉え、お互いに協力し合える体制の構築が必要です。私は医師としての立場からも、この医療問題については国に対して積極的に提言していく所存です。



## 「やらなければならないこと」を学生には見つけてほしい

今の学生は、与えられた「やらなければならないこと」が多すぎて本当に大変だと思います。私が学生のころは、のんびりとして、同じ下宿先の先輩後輩と毎日のように酒を酌み交わしながら将来のことについて語り合っていたものです。学生には、是非忙しい中にあっても何とか時間を見出し、自分は将来何がしたいのか、自分で考えた「やらなければならないこと」を早く見つけてその道へ邁進していただきたい。

## 「兵庫医療大学の活躍」は卒業生にとって嬉しいニュース

平成19年に兵庫医療大学が開学したことは、卒業生にとって非常に嬉しいことでした。母校が大きくなっていくこと、また新しい大学から卒業生が社会に出て活躍していくことは、誇りであり、励みにもなります。兵庫医科大学、兵庫医療大学の学生ともに大いに頑張って下さい。期待しています。

## 橿原市周辺は歴史ある近くてとてもいい「まち」

橿原市は橿原神宮や日本最古の都とされる藤原京があった歴史の古いまちです。現在、世界遺産の国内暫定リストに飛鳥・藤原(明日香村、橿原市、桜井市)が「飛鳥・藤原の宮都と関連資産群」として記載されており、石舞台古墳や高松塚古墳などはじめ数多くの資産があり、平成23年頃の世界遺産登録を目指しています。

最近では高速道路が整備され、また鉄道も来春(平成21年)から阪神電車のなんば線が開通して阪神方面から橿原市まで電車1本で来られるようになります。昔と違って交通の便が飛躍的によくなります。是非、歴史ある「まち」へ一度お越しください。

森下市長の奥さまも兵庫医科大学の卒業生です。現在、森下内科医院の院長を務められておられます。  
【森下 杏子(旧姓 武田) 第11期生(昭和63年卒)】

# 職場

REPORT  
レポート



## 小児科医になって本当に良かった

小児科医 | 磯野 員倫(かずとも) 助教

## 兵庫医科大学病院 小児科

私の医師のイメージは子どもの頃通っていた近所の小児科の先生でした。「優しいおっちゃん」といった感じで、ちっとも怖くありませんでした。だから、医師になるというより、そんな小児科医になりたいと思っていましたね。

現在NICU(新生児集中治療室)を担当しています。新生児は身体も小さい言葉も発することもできない、ちょっとしたことが一生を左右することになりかねないというプレッシャーもあります。そんな環境の中でも、年齢が近い同僚と時には飲みに行ったりして、コミュニケーションを深めています。意見交換などがしやすく非常に助かっています。

医師になって約10年ですが、小児科医になって良かった。人員も少ないし、たいへんな仕事ですが、クリスマスにサンタ役をやって子どもたちが喜んでくれたり、退院したお子さんが文字を書けるまでに成長して年賀状をくれたりすると、本当に良かったなという気になります。これから医師を目指す人は情報が多い分それに左右されがちですが、経験して判断することも大事。まずは、勢いを持って飛び込んでみてほしいと思いますね。

## NICUグループ

1989年の開設以来、兵庫県阪神地区唯一の母子合併症患対応可能な地域周産期センターとして産婦人科とともに地域周産期に従事しています。2004年新生児専門研修施設に認定。2007年に受け入れ体制強化のため移転改築し、集中治療エリアではシーリングシステムや集中治療看護支援システムを院内で最初に導入するなど、高度医療を担う環境を整備しています。また室内は従来の無機質なイメージから脱却し、木目調の床や暖かい色調が特徴です。

医師スタッフは当院で研修したのち国内の総合周産期センターに国内留学してスキルアップを行い、新生児脳障害や血液疾患・遺伝疾患など院内専門グループと協力して研究面においても日々研鑽しています。看護スタッフも増床に伴い約2倍に増員、安心安全最良の優しい医療を目指し良きチームワークをモットーに診療にのぞんでいます。



## 血液腫瘍グループ

スタッフ3名で、白血病や悪性リンパ腫、骨髄異形成症候群などをはじめとした血液疾患全般の治療を行っています。無菌室1室、準無菌室1室を有し、幹細胞移植も難治性疾患に対してこれまでに87例行っています。また、神経芽細胞腫、ウイルス腫瘍、横紋筋肉腫などの固形腫瘍についても、各疾患の治療研究グループに属し、外科チームと連携の上、集学的治療を行っています。

外来においても、血友病などの出血性疾患に対し、治療とともに、日常生活の指導や在宅自己注射の早期導入に力を入れています。また、先天性溶血性貧血、好中球減少症、免疫不全疾患などの診断・治療も行っています。

また、臨床とともに、骨髄異形成症候群(JMMLなど)を中心とした研究を進めています。



## 腎臓グループ

小児腎疾患(腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、腎移植など)を専門に診療を行っています。また、学校検尿異常などで精査が必要な方に対して、過去20年間で約1000例の小児に対する腎生検を行い、重篤な合併症なく安全に行うことができています。

血液浄化療法を行うときも腎透析科、泌尿器科、集中治療室と協力して治療をしています。小児の生体腎移植にあたって積極的にに関わり、輸液管理、免疫抑制剤の管理を入院、外来で行っています。そのため、学校検尿異常の精査から腎移植、腎移植後管理まで、一貫した治療、管理を行うことができます。

臨床的研究、基礎的研究も行い、国内・国際学会で発表するなど、常に知識のアップデートをしなが、小児腎疾患患者さんにてきる限り還元できるように頑張っています。







## チームワークを大切に 頑張ってます!

看護師長 | 竹田 良子さん 救急看護認定看護師 | 清水 真幸さん

### 兵庫医科大学病院

## 看護部 救命救急センター

### 緊張感の中でも良い雰囲気

救命救急センターでは、急性心臓停止例、急性ショック、多発外傷など全ての緊急疾患に対する救命救急治療や、院内の患者さんの急変病態に対して、人工呼吸、各種血液浄化、人工心臓などの集中治療などを行っています。

救命救急センターの看護師は約40名。うち救急認定看護師が2名おり、患者さんやそのご家族に質の高い看護を提供できるようスタッフへの教育指導を行っています。今年も2名が認定審査を受ける予定です。

センターには毎日、重症の患者さんが搬入されます。意識のない患者さんも多いですが、患者さんやご家族への積極的な声掛けを心がけています。重篤な患者さんやご家族もいらっしゃる中で、常に配慮が欠かせず緊張感もありますが、スタッフ間の雰囲気は良いと思います。メンズナースも20代を中心に約10名いますが、医師も含めてコミュニケーションもよくとれていて、チームワークは良いと思います。



### 高い意識でチーム医療に臨んでいます

本病院は三次救急ですが、実際は諸医療機関で対応困難な患者さんを重症に拘わらず受け入れていますので、人員等対応しきれない部分があるのも現状です。また、災害拠点病院ということで、報道やテレビドラマのイメージで看護師を目指す人も多く、実際の現場に出てからギャップに苦しむ人も少なくありません。さらに、疾患も対象も広いので、もっともジェネラリストが求められる部門。浅く広い知識ではやっていけません。医師からも「患者さんをいっぽんわかるのはベッドサイドの看護師さんなんだから、いっしょに頑張りましょう」と言ってもらっていますが、その分求められるものも高いので努力が必要です。充実したチーム医療に向けて認定看護師を中心に、救急車同乗実習などの救急対応・院外研修も含めた研修を積極的に行い、スキルとモチベーションを高めています。



### さらに充実した兵庫医科大学病院へ

昨年、兵庫医科大学からの見学実習を受け入れましたが、実際の現場を知ること、またモチベーションを高めるという点でも、学生の頃から現場を見ておくことはとても重要だと思います。これからもっとそのような機会を増やしてほしいと考えます。

今後は、災害拠点病院のセンターとしての役割を充実させるため、プレホスピタルケア・災害看護の確立に力を注いでいきたいです。また、救命救急センターに限らず、患者さんの急変などへの対応をシミュレーションする研修など、院内の各専門科などとの研修も救急看護認定看護師が中心になって働きかけたいと考えています。

## 失敗を恐れずに “自分で” やってみる

天然薬物学 | 青木 俊二 教授

天然薬物学の研究テーマは、植物や海洋生物などの天然素材から医薬リード化合物を探します。私は特に、抗がん剤になるような化合物の探索に取り組んでいます。

研究材料を探るときは自分で海に潜ります。学生時代、初めて潜ったのは沖縄の海。本隊より先に沖縄入りし、3日間のスノケルレーティングで叩き込まれましたね。このような材料の採取から、化合物を見つけその作用を調べる実験まで基本的にすべて自分でやります。“自分でやる”ことは大切で、実体験に支えられたことこそ本当の力になるのだと感じています。

兵庫医療大学はまだ出発したばかりですが、組織は仕組みで動くのではなく、構成する“人”で動きます。多くの人の力を活かすために、職員、学生ともお互いのことを尊重し、兵庫医科大学と兵庫医療大学の学校間・学部間の交流を活発にしていきたいですね。



### 兵庫医療大学

## 薬学部 基礎薬学(化学系)

基礎薬学は、化学系と生物系の大きく2つに分けられます。化学系は「物質」としての薬を科学的に理解し、新薬の開発や医療への応用を研究する分野。兵庫医療大学でも各分野の先生方が、オリジナリティーのある研究を行っています。

生体分析化学 | 前田 初男 教授

高い分子認識能をキーワードに、(1)可視・近赤外蛍光プローブの設計開発、(2)人工抗体の設計開発、(3)表面高次機能化酵母(大腸菌)の設計開発の3つのプロジェクトを立ち上げています。モットーは「既存の知識や情報に固執せず、独創的であれ」、「自分の感覚を大事にしろ」、「フットワーク良く動け」の3つ。KOBÉ RED・KOBÉ NIRなどと名付けるに相応しい蛍光プローブを開発し、ポートアイランドから世界に向けて発信したい! また、「はかってなんぼ研究会」と「ユニバーサルデザイン研究会」を発足。これらの活動を通して、学生達と一緒に学び活動することにより社会貢献したいと考えています。



創薬化学 | 田中 明人 教授

「画期的な抗認知症治療剤の創薬」、「アフィニティ樹脂を用いたターゲット探索技術基盤の確立、および創薬ターゲットの探索」を2本柱として研究しています。昨年までアステラス製薬で実際の創薬を行ってきた経験から、「顧客満足度向上の貢献」を意識し、目的・目標と期限を明確化した研究を進めていきたいと思っています。また、製薬企業研究者が如何に医療現場と乖離した研究をしてきたかを戒め、病院と製薬企業(創薬部隊)との橋渡し(ボーダレス計画)に努めたいと考えています。



有機化学 | 宮部 豪人 教授



現在医療に用いられている薬の約70%が人工的に創られた合成医薬品。有機化学の研究は、薬を人工的に創製するための基礎反応研究から創薬研究まで幅広い分野です。天然資源の少ない日本において、医薬品などの生物活性物質の開発研究は重要。特に、環境に調和適合した合成法の確立を目指して、積極的に学外に出て広く薬学や有機合成化学の分野で活動するように心掛けながら、世界の先駆けとなる研究を実施しています。

物理化学 | 甲谷 繁 講師

有機化学の宮部教授とあわせて、「薬品化学研究室」を構成しています。物理化学分野の研究テーマは、「光触媒を使った新しい医療・創薬技術の開発」。光触媒では、日常生活の中でも防汚や抗菌などを目的に、酸化チタンが主に利用されていますが、その他にも医療や創薬に役立つ新しい材料の探索や、新しい技術の開発を行っています。



# Join Us!

～課外活動紹介～

第1回

## 要望があれば遠慮せずに言ってください!

兵庫医科大学 学生会

学生会常任委員長 4年生 木島 和也さん(ラグビー部) 会計 3年生 栗原 侑子さん(合気道部) (平成20年3月現在)

### Q.学生会ってどんなところ?

いわゆる生徒会のようなものと考えてもらえばいいと思います。現在14名が、主に年間活動方針や予算の作成、決算報告、各クラブの統括などを行っています。特に予算の配分では各部門の要望をまとめるのに苦労しますね。他には新入生歓迎にも力を入れていて、月に一度、代表者が学生部委員会に出席して学生の意見・要望を大学と調整するのも大きな役割の1つです。また、各行事で学生代表として花束贈呈をしたり、大学祭などの催しで挨拶などしたりもします。雰囲気としては、1年生から6年生まで仲が良いです。いつも学生会室には人がいて話をしています。学年を越えて話ができるのはとても嬉しいことです。



### Q.今後どのようなことに取り組んでいきたいと考えていますか?

学生会では、学生用コピー機4台(リース)の管理と運営も行っているのですが、大学の近くに1枚6円でコピーできるお店があって、学生はみんなその店に行ってしまうんです。一定の枚数を使用されないとリース代の方が高くなってしまいますから、実質赤字状態なんです。今後、稼働率を上げるために、学生に使用してもらえよう取り組んでいきたいと思っています。1枚10円のところを「期間限定2枚で10円」などのキャンペーンも積極的に行っていきたいですね。

また、学生会の活動に関心が薄い人も多いので、ホームページ等を利用して色々な情報を発信していく一方で、兵庫医療大学学生会とも積極的に交流していきたいと考えています。

学生のみなさん、遠慮は要りません。学生生活を送る上で要望等があれば気軽に学生会に言ってください。



▶ 栗原さんと木島さん

### 兵庫医科大学 学生団体名一覧

(平成20年4月現在)

### クラブ・サークル勧誘風景 兵庫医科大学

団体名(活動内容)	顧問	
アーチェリー部	解剖学神経科学部門	野口 光一教授
合気道部	泌尿器科学	島 博基教授
アメリカンフットボール部	解剖学細胞生物部門	関 真教授
空手道部	産科婦人科学	小森 慎二臨床教授
競技スキー部	外科学	富田 尚裕教授
剣道部	歯科口腔外科学	浦出 雅裕教授
硬式テニス部	形成外科学	垣淵 正男教授
ゴルフ部	放射線医学	廣田 省三教授
サッカー部	耳鼻咽喉科学	阪上 雅史教授
準硬式野球部	内科学糖尿病科	難波 光義教授
卓球部	皮膚科学	夏秋 優准教授
軟式テニス部	内科学リウマチ・膠原病科	佐野 統教授
バスケットボール部	小児科学	谷澤 隆邦教授
バドミントン部	内科学内分泌・代謝科	山本 徹也教授
バレーボール部	外科学	王 孔志助教
ヨット部	免疫学・医動物学	中西 憲司教授
ラグビー部	産科婦人科学	香山 浩二教授
ワンダーフォーゲル部(Triumph)	社会福祉学	橋高 通泰教授
陸上競技部	生理学生体機能部門	越久 仁敬教授
柔道部	生理学生体情報部門	西崎 知之教授
写真部	公衆衛生学	鳥 正之教授
室内楽団	リハビリテーション医学	道免 和久教授
美術部	免疫学・医動物学	善本 知広准教授
軽音楽部	皮膚科学	伊藤 孝明講師
ボランティア部(With You)	小児科学	服部 益治臨床教授
水泳同好会	内科学循環器内科	増山 理教授
医学研究会	生化学	鈴木 敬一郎教授
HCME(英語サークル)	英語学	古瀬 明里講師
ダンスサークル	内科学上部消化管科	三輪 洋人教授



### 兵庫医療大学 公認団体名一覧

※兵庫医科大学クラブとともに活動を行っている団体

### 兵庫医療大学

団体名(活動内容)	顧問	
アーチェリー部※	薬学部	田中 明人教授
バドミントン部	共通教育センター	伊東 久男教授
野球部	薬学部	前田 初男教授
サッカー部	薬学部	田中 稔之教授
水泳部	リハビリテーション学部	川口 浩太郎教授
バスケットボール同好会※	共通教育センター	賀屋 光晴講師
バスケットボールサークル	リハビリテーション学部	坂口 顕講師
Huhs/バレーサークル	看護学部	西村 明子講師
テニスサークル	薬学部	青木 俊二教授
ソフトテニスサークル	リハビリテーション学部	有吉 正則講師
フットサルサークル	リハビリテーション学部	山田 大豪教授
軽音楽部※	共通教育センター	磯 博行教授
Jazz/バンド部	薬学部	前田 拓也准教授
ボランティアサークル	リハビリテーション学部	Paul Douglas Andrew教授
漫画研究サークル	看護学部	水野 暢子講師
家庭科サークル(手芸・料理等を行う)	看護学部	竹田 千佐子教授
映画鑑賞サークル	共通教育センター	高木 範子講師
兵庫医療大学 天文サークル	共通教育センター	加藤 精一講師
芸術研究会※	薬学部	芝崎 誠司准教授
陶芸サークル	リハビリテーション学部	榎辺 勇講師
卓球サークル※		





# azbil

人を中心としたオートメーション

アズビル

検索

<http://jp.azbil.com>

山武グループ azbilは山武グループのシンボルマークです。



## 三井住友銀行

### ●西宮支店

〒662-0918 西宮市六湛寺町14-12

TEL (0798) 33-5271

窓口 平日 9:00~15:00

ATM 平日・土曜 8:00~23:00、日曜 8:00~21:00

### ●兵庫医科大学出張所 (ATMのみ)

ATM 平日 8:45~19:00、土曜 9:00~17:00

67億の健康。  
67億の未来。

未来へ広がる、無限の可能性。  
田辺三菱製薬、動き出す。



田辺三菱製薬  
www.tm-pharma.co.jp

## 健康と福祉に貢献する

医療機器・医用電子機器・衛生材料  
アンギオ用カテーテル・内視鏡製品  
整形外科用器械・病院設備全般

**YAYOI** 医療機器  
Corporation

株式会社 やよい

○本社 / 東京都中央区新富町 1-10-1 TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112

○東京営業所	東京都中央区新富町1-10-1	TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112
○大阪営業所	大阪府大阪市東区玉津2-2-21	TEL 06-6972-4121 FAX 06-6974-4867
○名古屋営業所	愛知県名古屋市中村区東通1-7	TEL 052-459-0252 FAX 052-459-0253
○福岡営業所	福岡県北九州市小倉北区東門町13-1	TEL 093-531-5520 FAX 093-531-5560
○札幌営業所	北海道札幌市中央区南一条西1-1	TEL 011-231-1111 FAX 011-231-1112
○仙台営業所	宮城県仙台市青葉区中央1-1	TEL 022-231-1111 FAX 022-231-1112
○新潟営業所	新潟県新潟市中央区西1-1	TEL 025-231-1111 FAX 025-231-1112
○金沢営業所	石川県金沢市西1-1	TEL 076-231-1111 FAX 076-231-1112
○富山営業所	富山県富山市西1-1	TEL 076-231-1111 FAX 076-231-1112
○福井営業所	福井県福井市西1-1	TEL 077-231-1111 FAX 077-231-1112
○滋賀営業所	滋賀県彦根市西1-1	TEL 077-231-1111 FAX 077-231-1112
○岐阜営業所	岐阜県岐阜市西1-1	TEL 057-231-1111 FAX 057-231-1112
○愛知営業所	愛知県名古屋市中村区東通1-7	TEL 052-459-0252 FAX 052-459-0253
○京都営業所	京都府京都市東山区南禅寺1-1	TEL 075-231-1111 FAX 075-231-1112
○兵庫営業所	兵庫県神戸市東灘区東灘1-1	TEL 078-231-1111 FAX 078-231-1112
○奈良営業所	奈良県奈良市西1-1	TEL 074-231-1111 FAX 074-231-1112
○和歌山営業所	和歌山県和歌山市西1-1	TEL 073-231-1111 FAX 073-231-1112
○徳島営業所	徳島県徳島市西1-1	TEL 087-231-1111 FAX 087-231-1112
○高松営業所	高松市西1-1	TEL 087-231-1111 FAX 087-231-1112
○松山営業所	松山県松山市西1-1	TEL 077-231-1111 FAX 077-231-1112
○高知営業所	高知県高知市西1-1	TEL 098-231-1111 FAX 098-231-1112
○高松営業所	高松市西1-1	TEL 087-231-1111 FAX 087-231-1112
○高松営業所	高松市西1-1	TEL 087-231-1111 FAX 087-231-1112
○高松営業所	高松市西1-1	TEL 087-231-1111 FAX 087-231-1112
○高松営業所	高松市西1-1	TEL 087-231-1111 FAX 087-231-1112



受注から、企画制作、印刷、パッケージ、そしてメーリングまで、  
すべてを本社工場一ヶ所で行うオール一貫システム。

ゼネラルアサヒ

検索

<http://www.generalasahi.co.jp/>

○本社	福岡県福岡市東区松田3丁目77番地	TEL 092-611-8311 FAX 092-621-0349
○デジタルグラフィクス研究所	福岡県福岡市東区アスティ1丁目5番地	TEL 0940-34-1180 FAX 0940-34-1184
○品川スタジオ	東京都港区港南1-3-34 東京日産ビル6F	TEL 03-5715-1371 FAX 03-5715-1372
○青山事業部	東京都港区北青山1-10-9 川島ビル8F	TEL 03-3400-0301 FAX 03-3400-0317
○虎ノ門事業部	東京都港区虎ノ門1-10 神谷町青木ビル4F	TEL 03-5404-7341 FAX 03-3433-6170
○名古屋営業所	愛知県名古屋市中村区東通1-7	TEL 052-459-0252 FAX 052-459-0253
○関西事業本部	大阪府大阪市東区玉津2-2-21 GA関西ビル	TEL 06-6972-4121 FAX 06-6974-4867
○北九州事業部	福岡県北九州市小倉北区東門町13-1	TEL 093-531-5520 FAX 093-531-5560

## 広報より

広報誌リニューアルにあたり学内で誌名を公募したところ、67件の応募がありました。誠にありがとうございました。編集委員会で選出した4案と、応募のあった全ての案について常務会に提案しましたが、残念ながらその中から決定することはできず、3月18日の常務会で再検討された結果、今回の広報誌名となりました。

兵庫医科大学・兵庫医療大学の名前が入っており、一目で両大学の広報誌とわかるもの、1法人2大学として両大学の結びつきや一体感があらわされるもの、内外に『広報』する意味を持ち、幅広い年代や様々な立場の方が読まれることを念頭において審査・検討されました。

今回、広報誌に採用された応募作はありませんでしたが、編集委員会で選出された4案の提案者には、ささやかではありますが粗品を贈呈いたします。

今後も、継続的に皆様のご意見をいただきながら、有益な情報誌として発展してまいりたいと思います。忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

## 編集委員

事務局	局長	森田 泰夫	学務部(教務学生課)	課長	岩佐 一史
総務部	部長	元岡 城作	病院事務部(地域医療課)	次長	甲斐 義啓
総務部(総務課)	次長	岩佐 義久	病院事務部(管理課)	課長	山口 勲
解剖学(細胞生物部門)	准教授	早川 徹	中央放射線部	主任技士	安政 勝己
生物学	准教授	石原 通雄	薬剤部	主任薬剤師	室 親明
皮膚科学	准教授	夏秋 優	臨床検査部	主任技師	戊角 幸治
看護部	次長	谷山 暁子	広報室 広報課	課長	高城 一彦
兵庫医療大学 広報グループ	マネージャー	中村 高志	広報室 広報課	主任	南部 拓也
学務部(入試課)	次長	幸田 章義	広報室 広報課	係員	福山 昭子
学務部(学務課)	次長	山田 洋一			

## 5月・6月の行事予定

### 5月

10日	兵庫医療大学	地域連携センター公開講座「在宅における栄養剤の使い方 その1」	地域連携実践センター/薬学部医療薬学科 八野芳巳 教授
13日	兵庫医科大学病院	看護の日記念行事	
14日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「更年期とうまく付き合おう」	第3会議室/産科婦人科 小森 慎二 臨床教授
17・24日	看護専門学校	ホームカミングデイ	
28日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「CDPDの話」	第3会議室/内科 呼吸器・RCU科 田村 邦宣 助教
31日	兵庫医科大学病院	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 市民公開講座「炎症性腸疾患の治療をめぐって」	平成記念会館/内科学下部消化内科 松本 豊之 教授(当番世話人)

### 6月

11日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「女性に特有な精神的問題について」	第3会議室/精神科神経科 西井 理恵 助教
22日	兵庫医療大学	第1回オープンキャンパス	
25日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「こどもと食物アレルギー」	第3会議室/小児科 澤木 潤子 助教
27日	兵庫医科大学	高等学校教員対象入試説明会	
28日	兵庫医療大学	高等学校教員対象入試説明会	

## 学校法人兵庫医科大学 関連事業会社

(株)エイチ・アイ  
各種業務受託、人材派遣、物品販売  
Tel.0798-45-6656

(有)エイチ・アイ・サービス  
損害保険、生命保険代理店  
Tel.0798-45-6673

西宮市武庫川町1-1  
兵庫医科大学10号館1F

<http://www.hi-hyogo.com/hi.html>

# 広報

兵庫医科大学・兵庫医療大学

2008年4月号 vol.193

発行日/平成20年4月25日

発行/学校法人兵庫医科大学

広報室 広報課

兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL: 0798-45-6655

FAX: 0798-48-6261

<http://www.hyo-med.ac.jp/index.html>

印刷・製本/株式会社ゼネラルアサヒ



# 健康被害の把握必要

石綿労災認定  
兵庫医大 震災の影響未知数  
公開講座



石綿による健康被害や最新の治療法が報告された公開講座。大阪府北区西天満、サ・フェニックスホール

阪神・淡路大震災後の一ト（石綿）を吸ったためた男性が労災認定され、石綿被害に「中皮腫」になったと訴え、高まる中、「中皮腫と闘い、ともに生きる」をテーマにした市民公開講座が十五日、大阪府北区で開かれた。兵庫医大の中野孝尚教授（呼吸器内科）は、一般に三十年前後とされる中皮腫の潜伏期間について「人によって違い、早く発症する可能性はある」とし、早期の検診や疫学的調査の必要性を呼び掛けた。

講座は同大が企画し、四人の専門医が講師。約百八十人が参加した。中野教授は、震災時に「触れ」のくらの量の石綿が飛散したのが分かっておらず、リスクの計算はほぼ不可能、どの程度吸い込めば発症するのかや、潜伏期間も人によって違つ」とした。その上で、「中皮腫は発症すれば進行が早い。早期発見のため、最低でも年二回は胸部エックス線検査を受けてほしい。毒性の強い青石綿の危険性など、知識を市民に広めなければならぬ」と指摘。講義後、取材に対し「行政は中皮腫より発症が早い『良性性石綿胸水』のサーベイランス（監視）調査をし、まず健康被害の実態を把握する必要がある」と述べた。

平成20年3月16日 神戸新聞

# 「腸管癒着」免疫反応が引き金

手術でおなかを切った患者の6割以上で生じる腸管癒着は、切開部の炎症が引き金になり、体の免疫システムが働いて起ることを兵庫医大のグループが、マウス実験で明らかにした。予防法開発につながることを期待される。米医学誌「ネイチャー・メディシン」（電子版）に発表された。

## 兵庫医大グループ

腸管癒着は、盲腸の手術やお産時に帝王切開などを受けた患者の腸管同士や腸管と腹壁などの内臓がくっつくもので、腸管の動きが滞り、腸閉塞などの原因となる。

## 手術時、予防法開発に期待

その結果、腸に生じたやけどの刺激がリンパ球のナチュラルキラー細胞を増やし、インターフェロン（IFN）を多く産生。IFNが多いと、血液の凝固にかかわるたんぱく質のフィブリンが腸管内に吸収されなくなり、腸管同士の間にたまって癒着を起すことを突き止めた。

平成20年3月18日 朝日新聞

週刊朝日MOOK『手術数でわかるいい病院2008 全国&地方別ランキング』（朝日新聞社2008年2月10日発行）に掲載されました。兵庫医科大学病院の情報を抜き出しました。（下表で「-」は週間朝日MOOKに項目なし又は記載なし）

### 全国ランキング TOP40

手術	順位	手術数	主な医師名	常勤医数	掲載ページ
股関節形成手術	3位	216	あぶみ骨手術14 阪上雅史、三代康雄	2	89
大腸がん手術	15位	234	結腸がん:開腹106、腹腔鏡11、直腸がん:開腹116、腹腔鏡1	-	69
脳腫瘍手術	23位	109	神経腫瘍10、下垂体腫瘍36、神経鞘腫4、髄膜腫20	-	29
食道がん手術	27位	40	内視鏡治療15、化学放射線療法6	-	53

### 地方別ランキング 近畿（大阪、京都、兵庫、奈良、三重、滋賀、和歌山）

手術	順位	手術数(前年比)	主な医師名(個人症例数)	常勤医数	掲載ページ
大腸がん手術	2位	234(+36)	結腸117、直腸117 富田尚裕、野田雅史	8	141
脳腫瘍手術	5位	109(▲4)	- 有田憲生(75)、森 隆二(26)	-	133
食道がん手術	6位	40(+11)	内視鏡15、化学放射線6 藤原由規、王孔志	3	138
肝臓がん手術	16位	84	原発性肝がん42、転移性肝がん6、胆道がん20、膵がん16 -	-	139
肺がん手術	17位	69(+8)	開胸10、胸腔鏡59 長谷川誠紀、田中文啓	3	137
心臓手術	17位	162(+16)	バイパス38、弁膜症58 宮本裕治(162)	-	134
子宮がん手術	18位	45	頸がん16、体がん29 香山浩二、小森慎二	4	143
胃がん手術	25位	104	開腹98、腹腔鏡6、内視鏡73 菅子三津留、藤原由規	7	140

### 特集企画 「もしも」のために知っておきたい 脳卒中の「いい病院」:実力度

症例数	脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	受け入れ態勢	検査体制	SCU	使用実績	リハビリ体制	専門医数
160	81	56	23	○	MC	○	5	地(-)	専門医数

症例数:2006年1~12月、受け入れ態勢:24時間365日体制で急性期脳卒中患者を受け入れる場合は「○」、検査体制:24時間365日体制でMRI又はCTによる検査が可能な体制の有無。両方とも可能な場合は「MC」。SCU:脳卒中集中治療室(SCU)がある場合は「○」、t-PA使用実績:2006年1~12月の使用実績。リハビリ体制:急性期のリハビリテーションに引き続き、院外のリハビリテーション専門施設へ転院を促進している地域完結型の場合は「地」。専門医数:日本脳卒中学会専門医の資格を持つ医師数と、その医師が属する診療科名を併記。